

[What's New in Virtual Library] HP <http://www.space-library.com> ミルスペース 090421 アーカイブにアップ

Defense News 090330 Cover: http://space-library.com/090330DN_Cover.jpg

AW&ST 090420 Cover: http://space-library.com/090420AWST_Cover.jpg Contents: http://space-library.com/090420AWST_Contents.pdf

ASCEND SIN(Space Intelligence news) 0904 Cover: http://space-library.com/ASCEND_0904_SIN_Cover.jpg All(pdf): http://space-library.com/ASCEND_0904_SIN.pdf

Aerospace America 0904 Cover: http://space-library.com/0904Aerospace_America_Cover.jpg Contents & Articles: <http://www.aiaa.org/aerospace/Archives.cfm?ArchiveIssueid=116>

Military Technology 0904 Cover: http://space-library.com/0904MT_Cover.jpg Contents: http://space-library.com/0904MT_Contents.pdf

0903 Cover: http://space-library.com/0903MT_Cover.jpg Contents: http://space-library.com/0903MT_Contents.pdf

Space Flight 0904 Cover: http://space-library.com/0904SF_Cover.jpg Contents: http://space-library.com/0904SF_Contents.jpg

Aerospace China 09spring Cover: http://space-library.com/AerospaceChina_09spring_Cover.jpg Contents: http://space-library.com/AerospaceChina_09spring_Contents.jpg

InsideGNSS 0903&04 Cover: http://space-library.com/InsideGNSS_0903&04_Cover.jpg All(pdf): http://space-library.com/InsideGNSS_0903&04.pdf

NGA Pathfinder 0904 Cover: http://space-library.com/0903and04NGA_Pathfinder_Cover.jpg Contents: http://space-library.com/0903&04NGA_Pathfinder_Contents.pdf

Article & Link: <https://www1.nga.mil/Newsroom/Pathfinder/0702/Pages/default.aspx> All(pdf): http://space-library.com/0903&04NGA_Pathfinder.pdf

ISAS News 0904 Cover: http://space-library.com/0904ISAS_News_Cover.jpg

JAXAs 0904 Cover: http://space-library.com/0904jaxas025_Cover.jpg All(pdf): <http://space-library.com/0904jaxas025.pdf>

[What's New in Real Library?] [謝辞] JAXAよりISAS News0904 寄贈、感謝。航空図書館よりMilitaryTechnology 0904, 0903 寄贈、感謝。

20090428 mainichi.jp

宇宙基本計画：計画案、早期警戒衛星研究盛る 安保など積極活用

政府の宇宙開発戦略本部専門調査会は27日、宇宙開発利用分野で初の国家戦略となる宇宙基本計画案をまとめた。弾道ミサイル発射をいち早く検知できる早期警戒衛星開発に向けた研究着手を盛込むなど安全保障や産業振興、国民生活に積極的に宇宙を活用していく姿勢を前面に打出した。基本計画は10年程度先を見通した5年計画で、昨年8月に施行された宇宙基本法に基づき策定。今後、国民から意見を求め、5月末に決定。計画案によると、地球環境観測や高度情報通信、宇宙科学など9分野に分け人工衛星の開発を推進。09～13年度に現状の2倍にあたる34基の衛星打上げを目指す。必要な予算や人員の確保は「財務省と協議している」として、「検討中」と書くにとどまった。有人宇宙活動については従来路線を転換。月資源調査などを目的に「有人を視野に入れたロボットによる月探査」を掲げた。まず20年ごろに日本の得意とする二足歩行ロボットなどによる無人探査を行い、次段階として人間とロボットの連携による本格探査を目指す。しかし、有人ロケット開発については明記せず、将来の輸送システム研究開発で「月探査などにも留意する」と述べるにとどめた。

<http://mainichi.jp/select/seiji/news/20090428ddm003010058000c.html>

また、「安全保障分野の宇宙の役割は今まで以上に高まっている」と指摘し、防衛分野で必要な衛星は新しい防衛計画の大綱などの議論の中で検討する。【西川拓】

◇巨額支出、慎重論も――防衛省

政府が27日にまとめた宇宙基本計画案には、早期警戒衛星の研究推進が盛り込まれた。北朝鮮の弾道ミサイル発射の探知を、米国の早期警戒衛星に依存しているため、自民党を中心に自前の早期警戒衛星を保有すべきとの声が強まっている。一方で、巨額支出が必要ことから、防衛省内で慎重論も根強く、年末に改定される防衛大綱・中期防衛力整備計画(中期防)での主論点となりそう。早期警戒衛星は、約3万6000キロ上空の静止軌道から、赤外線センサで地球上の熱源をとらえ、ミサイル発射を確認する機能を持つ。自民党国防族を中心に「宇宙基本法が成立したのだから、自前の衛星を持つべき」との意見が強まっているが、早期警戒衛星は1機あたり5000億円以上かかると言われる。地球全体をカバーするには3機程度は必要で、データベース構築も加えれば兆円単位の予算が必要。【仙石恭】

20090428 07:01 nikkei.co.jp

宇宙開発、産業振興に活用 初の国家戦略、まず5年計画

政府の宇宙開発戦略本部(本部長・麻生太郎首相)は27日、専門委員会を開き、宇宙基本計画案を取りまとめた。宇宙利用に関する

初の国家戦略で、天体観測など基礎科学の底上げを重視する路線から産業振興に政策の重点を転換した。北朝鮮の長距離弾道ミサイ

ル発射に対応し、専守防衛の条件付ながら初めて、宇宙技術の防衛利用の解禁も打出した。計画案は5月末に正式決定。2008年施行の宇宙基本法を受け、今後10年の戦略を具体化するため前半5年

<http://www.nikkei.co.jp/news/seiji/20090428AT1C2700B27042009.html>

2009年04月28日 日刊工業

政府、宇宙基本計画案まとめる—有人視野に月探査

政府の宇宙開発戦略本部(麻生太郎本部長=首相)は27日、国家宇宙戦略である「宇宙基本計画」原案をまとめた。重要目標に月探査や宇宙開発利用、宇宙外交の推進などを据えたほか、北朝鮮弾道ミサイル発射を受け、ミサイル発射探知をする早期警戒衛星の導入を検討する。今後、国民の意見を募るパブリックコメント実施後、5月末に計画を策定する。宇宙基本計画は08年に施行された宇宙

<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0620090428eaac.html>

4月28日 ブルームバーグ

日本政府：二足歩行ロボット月探査、2020年ごろ—初の宇宙計画原案

日本政府は2020年頃の二足歩行ロボットによる月探査や、人工衛星打上げを過去5年間(2004—08年度)の16機から、今後5年間(09—13年度)に34機とすることなどを柱とする「宇宙基本計画」(原案)をとりまとめた。5月下旬に正式決定。今月5日の北朝鮮によるミサイル発射を踏まえ、同計画には安全保障を目的に情報収集・早期警戒を行う衛星システム導入方針が明記された。具体的には弾道ミサイル発射を探知するセンサの研究などを推進。政府は08年8月に施行された宇宙基本法に基づき同計画を策定。27日の宇宙開発戦略本部(本部長・麻生太郎首相)の宇宙開発戦略専門調査会で基本的に了承された。政府が同計画を策定するのは初。同計画は今後10年程度の宇宙開発・利用の在り方を視野に入れつつ、当面5年間に取組むべき課題を列挙。宇宙開発利用に際し、①情報収

記事に関する記者への問合せ先: 東京 広川高史 Takashi Hirokawa thirokawa@bloomberg.net

http://www.bloomberg.co.jp/apps/news?pid=90003017&sid=adOYu6Yj4Jpk&refer=jp_japan

20090428 01時50分 yomiuri.co.jp 社説

宇宙基本計画 軍民共用の推進が合理的だ(4月28日付・読売社説)

宇宙開発を安全保障に役立て、外交ツールとしても活用する方針を明確に示した。政府の宇宙開発戦略本部がまとめた宇宙基本計画案は、向こう10年程度を目標に据え、今後5年間に取組む宇宙開発具体策を盛り込んだ。これまでタブーだった防衛目的宇宙利用では、将来の早期警戒衛星導入を念頭に、早期警戒機能のためのセンサ研究の推進を明記。現状は米の早期警戒衛星情報に全面的に依存している。北朝鮮の核とミサイルの脅威に対し、自前でミサイル発射早期探知が可能になれば、迎撃できる確率も増すに違いない。だが、

間の計画を盛り込んだ。世界を主導する米口に続き中国やインドが台頭、日本が優位を保つ道筋をつける。

基本法に基づき、今後10年間の宇宙政策の方向性や当面5年間(09—13年度)の具体的な目標を掲げている。月探査については、月面有人宇宙活動を視野に入れ、2020年ごろに2足歩行ロボットのなどによる高度無人探査を目指す。このため、25年までの有人月探査を見据え研究開発項目や資金見積りなどを、1年程度かけて検討する。

集や専守防衛の範囲内での「安全保障の強化」②国際競争力強化など「21世紀の戦略的産業の育成」③環境施策と調和を図った「環境への配慮」—など6分野での施策が盛り込まれた。特に「21世紀の戦略的産業の育成」では、「宇宙産業はわが国の宇宙活動を支える重要な基盤」と表記。「宇宙産業は通信・放送サービス、衛星画像を使った地図利用サービス、ナビゲーションなどの測位サービスといった宇宙を利用したサービス産業にも広がりを持つ」として、産業振興の意味での重要性も指摘。月探査では20年ごろに二足歩行ロボットによる月探査を実現し、次段階として人とロボットの連携による月探査を目指す。このため今後1年程度を費やし研究開発項目や中長期的スケジュール、資金見積を検討。

技術面で課題も多い。センサは静止軌道から熱感知できる性能を求められる。ミサイル発射時の熱を火災の熱などと誤認しないためには、さまざまな熱源情報を蓄積したデータベース開発も必要になる。計画案は、具体化には防衛と他の目的の機能を併せ持たせるデュアル・ユース(軍民共用)検討を進めるべきとした。センサやデータベースは、火山や山火事の早期警報、都市部ヒートアイランド現象解析などにも利用できる。軍民共用運用を想定した開発が合理的だ。開発コストの抑制も期待できる。日本の宇宙開発は従来、「平和利用」を「非軍

事」と誤って解釈し、この種の議論を避けてきた。計画策定を機に、世界に例が多いデュアル・ユースを積極的に推進すべき。計画案は「宇宙外交」推進も掲げた。中国が、アフリカで資源確保と引換えに**衛星**開発に協力するなど先行してきた分野だ。日本も近年、**衛星**画像を活用し、アフリカ南部のボツワナで鉱物資源探査技術協力を進め、インドネシアで穀物収穫予測に協力している。こうした取組みを強化し、これまでの遅れを取戻さねばならない。ただ、どんな宇宙活動も、前提

<http://www.yomiuri.co.jp/editorial/news/20090428-OYT1T00002.htm>

2009年4月28日 世界日報 社説

早期警戒衛星／最高の機能持つ機器導入を

政府は、宇宙開発戦略本部が初策定した「宇宙基本計画」案で、早期警戒**衛星**導入検討する方針を打出した。国家間武力紛争の場合は、陸海空に加えて第二次大戦後から宇宙にも広がっており、宇宙利用なくして国家安全を確保することはできなくなっている。早期警戒**衛星**の導入方針を事実上策定したことに賛成する。

お粗末な情報収集能力

先の北朝鮮弾道ミサイル発射実験をめぐる際に改めて明らかになったように、国家安全を確保する上で宇宙の役割は極めて高まっている。ところが、わが国はこの面で全面的に米に依存してきた。今回の弾道ミサイル発射の際のわが国当局のもたつきの一因も、自前の早期警戒能力がない点にある。闘争能力が弱い動物ほど危機を感知する能力に長けている。いち早く迫ってくる脅威を感知し、危機を回避したり、被害を局限するためである。わが国の防衛力は世界の主要国に比し、非常に脆弱である。それにもかかわらず、わが国の情報収集能力は極めてお粗末である。その点では旧軍の悪しき体質を受継いでいるといえる。第二次世界大戦後、宇宙が紛争の場となってから、主要国の宇宙利用技術は大きく発達した。ところが、わが国はこれを民需用に限定し、国家安全保障分野にほとんど利用せず、今日に至っている。利用努力が足りなかったのではなく、防衛に対する偏見と米への過度の依存から、このような状況に陥っている。そこで留意すべきは、冷戦後

<http://www.worldtimes.co.jp/syasetu/sh090428.htm>

20090428 nikkeibp.co.jp 松浦晋也の「宇宙開発を読む」

公表された宇宙基本計画案(1) 太陽系探査の芽は、つみ取られてしまうのか

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20090428/149818/>

宇宙基本計画の奇妙にねじれた文面

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20090428/149818/?P=2>

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20090428/149818/?P=3>

ISASの弱体化と、その打開策としてのJSPEC

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20090428/149818/?P=4>

となるのは確かな技術力だ。その涵養(かんよう)が欠かせない。計画案は、今後10年間に政府が開発する**衛星**や宇宙探査機を一覧表に掲げた。切れ目なく経験を重ね、産業競争力も培うことができる、との判断からだ。独自有人宇宙活動でも、政府として初めて、ロボットと人による月探査の実現に触れた。1年程度で具体案を検討する。計画案を、日本の宇宙開発の総合力強化につなげたい。

の米は超大国としての能力が弱まり、基本的に自己の国益を守ることので精いっぱいになっているという点だ。昨秋来、経済の構造的不況が露呈したが、この傾向が強まる可能性は否定できない。従って、わが国は冷戦下のように、安全保障面で米に“おんぶに抱っこ”できなくなっていく。ミサイルが武力紛争の中核的役割を果たすようになって久しいが、ミサイルに対する防御は分秒の戦いである。特に弾道ミサイルへの対応は秒単位の対応が要請される。仮に米が日本に情報を伝達してくれるにしても、日本が自前の早期警戒**衛星**で情報入手するよりも時間が遅れる。これはミサイル防御には致命的である。現在、わが国は情報収集**衛星**を3機運用しているが、計画案では五年以内に4機体制にするとともに解像度を軍用レベルに上げる方針を打出している。地球を周回する情報収集**衛星**が3機では、重要目標の常時監視を完全にできないから4機体制採用は必要である。この**衛星**導入前、防衛省は米などの企業から、低解像度の商業用**衛星**写真を購入していた。ところが、導入当時、防衛に対する偏見から意図的に低解像度機能しかない**衛星**を導入した。従って、是正は当然である。

導入時の愚繰り返すな

早期警戒**衛星**導入に際し、情報収集**衛星**導入時の愚を繰返してはならない。導入時点での最高機能を持つ機器を導入すべきである。

筑波宇宙センタは巨大公共投資としての月探査を欲している

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20090428/149818/?P=5>

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20090428/149818/?P=6>

“お家の事情”で未来をすり潰すつもりか

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20090428/149818/?P=7>

「早期警戒衛星」導入検討も…宇宙基本計画案を了承

政府の宇宙開発戦略本部(本部長・麻生首相)は27日、宇宙開発戦略専門調査会を首相官邸で開き、昨年8月施行の宇宙基本法に基づく初の「宇宙基本計画」の案を了承した。5月中旬まで国民の意見を募り、宇宙政策の基本方針を定める国家戦略として、同下旬に正式決定。基本計画は、〈1〉宇宙に関する明確な国家戦略がなく、研究開発と利用、産業振興の連携が不十分〈2〉安全保障面の宇宙政策が希薄〈3〉実績と経験不足により宇宙産業の国際競争力が不足——と指摘。宇宙開発を、研究開発主導から利用主導に転換

<http://www.yomiuri.co.jp/space/news/20090427-OYT1T00971.htm?from=navr>

-----関連ニュース-----

Apr. 28, 2009 The Yomiuri Shimbun

Space policy to shift focus to practical use

<http://www.yomiuri.co.jp/dy/national/20090428TDY01304.htm>

2009.4.27 17:54 sankei.jp.msn.com

宇宙基本計画原案を了承 早期警戒衛星のためのセンサ研究も

政府の宇宙開発戦略本部(本部長・麻生太郎首相)は27日、首相官邸で宇宙開発戦略専門調査会を開き、弾道ミサイル発射を探知する早期警戒衛星のためのセンサ研究や宇宙産業の育成など盛り込んだ宇宙基本計画原案を了承。5月下旬本部会合で正式決定する。今回の計画は、20年5月に成立した宇宙基本法に基づき初策定された。期間は21年度からの5年間。計画は、政府施策として9項目

<http://sankei.jp.msn.com/politics/policy/090427/plc0904271755007-n1.htm>

2009/04/27-21:37 jiji.com/

宇宙関連予算、「5年倍増」で調整＝基本計画案を了承－政府

政府は27日、首相官邸で宇宙開発戦略本部(本部長・麻生太郎首相)の会合を開き、今後5年間の宇宙開発・利用に関する方針である「宇宙基本計画」案を了承。熱源からミサイル発射を探知する早期警戒衛星導入検討を明記した。一般からの意見公募を経て、5月末に正式決定する運びで、宇宙関係予算(2009年度で約3500

http://www.jiji.com/jc/c?g=pol_30&k=2009042701034

04/28 01:04 fnn-news.com

動画付き

宇宙基本計画 ミサイル発射探知が可能な早期警戒衛星の導入検討を盛り込みへ

5月、政府の宇宙開発戦略本部がまとめる「宇宙基本計画」に、ミサイルの発射探知が可能な早期警戒衛星導入を検討することが盛り込まれることになった。27日の専門調査会で示された計画案では、安全保障分野での宇宙利用につき、「北朝鮮がミサイルを発射した2009年4月の動きを見れば、宇宙の役割は今まで以上に高まっている」として、

するとうたっている。今後5年を見据えた具体策として、衛星や国際宇宙ステーションへの物資輸送機など34機を打上げる「行程表」を盛り込み、外交や産業育成に生かすとした。また、北朝鮮ミサイル発射を受け、発射時の火炎探知が可能な「早期警戒衛星」導入を検討している。日本が得意とするロボット技術活用も、重要課題に掲げた。二足歩行ロボットによる月探査を2020年をめどに実施し、将来の有人探査可能性を探る他、軌道上宇宙ごみ回収にも貢献するとした。

の宇宙開発利用計画を提示。安全保障分野では、センサ研究のほか、地球上特定地点を1日1回以上撮影するために5年以内に情報収集衛星の4機体制を実現させる。宇宙産業育成では重要部品の国産化や民間サービスの政府購入など。人工衛星打上げは過去5年間(19機)のほぼ倍となる34機を計画。

億円)の「5年で倍増」で調整する。基本計画案では、今月5日の北朝鮮ミサイル発射に触れ、「安全保障分野における宇宙の役割は今まで以上に高まっている」と指摘。早期警戒衛星導入に必要なセンサ研究を推進するとした。さらに、過去5年で16機だった人工衛星の打上げを今後5年間で34機に倍増させる目標も掲げた。

早期警戒衛星導入検討が盛り込まれた。具体的には、安全保障を目的とする衛星システムにつき5年間の開発利用計画を立て、早期警戒衛星導入に必要なセンサ研究を行うとしている。政府は今後、計画案についての国民の意見を募るパブリックコメント実施後、5月下旬に正式決定する方針。



<http://www.fnn-news.com/news/headlines/articles/CONN00154004.html>

2009年4月26日03時03分 読売新聞

米国防総省、迎撃ミサイル・SM3の地上配備を検討

【ワシントン＝小川聡】米国防総省ミサイル防衛局(MDA)が、現在はイージス艦に配備されている迎撃ミサイル「スタンダード・ミサイル3」(SM3)を地上から発射する新たなミサイル防衛(MD)システム研究に着手していることがわかった。現MDシステムは、イージス艦から発射されるSM3と、撃ち損じた場合に地上付近で再迎撃する地上発射型「パトリオット・ミサイル3」(PAC3)の2段構え。SM3防衛範囲は半径約500キロで、十数キロとされるPAC3よりも格段に広い。新たなシステムはこの特性を生かし、最初の迎撃段階で海上からだけでなく地上からもSM3を発射するもの。4月5日の北朝鮮ミサイル発射は国際機関に事前通告されていたため、日本政府はイージス艦2隻を日

本海に展開した。しかし、北朝鮮が既に配備している弾道ミサイル「ノドン」は移動式発射台から発射でき、イージス艦がない時を狙って発射される可能性が指摘されている。新たなシステムなら、こうした場合でも早い段階で迎撃できる。MDAは最近、もともとは別のシステムである各種レーダ網とSM3など迎撃ミサイルを統合運用する技術を開発し、昨年12月の迎撃実験で実戦的テストにも成功した。MDAヘンリー・オベリング前局長は読売新聞に対し、「日本でも、地上発射型SM3を運用することが可能になっている。PAC3よりも防護範囲が広いうえ、既にSM3を導入している国にはコスト面でも効果的」と語った。

<http://www.yomiuri.co.jp/world/news/20090425-OYT1T01032.htm?from=any>

20090422 13:25 nikkei.co.jp

宇宙基本計画、関連予算5年で倍増 政府原案

政府が初めてまとめる「宇宙基本計画」原案が22日、分かった。弾道ミサイル開発を進める北朝鮮を念頭に、ミサイル発射を探知する早期警戒衛星導入検討を盛り込んだ。同計画で打出す防衛目的の宇宙利用解禁の第1弾となる。宇宙開発を産業政策の一環としても位置付ける方針を明確にし、低利融資や税制優遇などの支援策を検討する。宇宙関連予算は、5年後に倍増の年6000億円台を見込む。同計画は2008年施行の宇宙基本法に基づき、今後10年の宇宙政

策の方向性や当面5年間(09—13年度)の具体的目標を掲げる。宇宙開発戦略本部(本部長・麻生太郎首相)が27日の会合で議論し、5月に正式決定する。早期警戒衛星はミサイルが出す熱を感知する能力を持つ。導入を検討するのは、北朝鮮が人工衛星を搭載していると主張する弾道ミサイル、テポドン2号発射が背景にある。原案は「専守防衛の範囲内」との原則を強調しながらも「安全保障分野における宇宙の役割は今まで以上に高まっている」と指摘。

<http://www.nikkei.co.jp/news/seiji/20090422AT3S2200422042009.html>

2009年4月22日03時17分 読売新聞

早期警戒衛星の導入検討、月探査も…政府の宇宙基本計画

政府の宇宙開発戦略本部(本部長・麻生首相)が策定する初の「宇宙基本計画」の原案が明らかに。

北朝鮮による弾道ミサイル発射を受け、ミサイル発射探知が可能な早期警戒衛星導入検討を掲げ、月資源利用のため、月探査を今後の重要目標としたことが柱。今月27日の同本部会合で原案を了承し、国民の意見を募る「パブリックコメント」を経て5月下旬に正式決定する

運び。安全保障分野での宇宙利用については、「国連安全保障理事会決議や国際社会からの自制を促す声にもかかわらず、北朝鮮がミサイルを発射した2009年4月の動きを見れば、宇宙の役割は今まで以上に高まっている」と指摘、早期警戒衛星導入検討などを盛り込んだ。具体的には、安全保障を目的とする衛星システムについて5年間の開発利用計画を設定し、早期警戒衛星導入に必要なセンサ研究

などの着実な推進を行うとした。また、現在3機が稼働中の情報収集衛星を5年以内に4機体制にするとした。防衛政策全体の中の位置付けは、今年末までの防衛計画大綱、中期防衛力整備計画の改定作業に委ねることとした。人工衛星計画全体像としては09～13年度の5年間に計34機の衛星打上げを示した。また、中国の弾道ミサイルによる人工衛星の破壊実験や、米と口の人工衛星衝突事故を踏まえ、部品破片などの「スペースデブリ(宇宙ごみ)」が増大すると予想。「デブリ発生低減やデブリ監視強化など、国際社会と連携し、環境保全に率先して貢献する」とした。一方、月探査については、「世界をリードして資源利用の可能性を探るため、月面有人活動を視野に入れた探査を検討し、1～2年程度かけて意義や目標、資金見積りを検討」とした。その上で、〈1〉20年ごろをメドに、二足歩行ロボットによる高度な無人探査を実現する〈2〉次段階として人とロボットの連携による本格的な探査を目指す——との目標を示した。

<http://www.yomiuri.co.jp/space/news/20090422-OYT1T00218.htm?from=any>

2009.4.22 20:23 sankei.jp.msn.com

「JAXA」内閣府に移管 宇宙開発 商業利用を加速

政府は22日、宇宙航空分野の研究・開発を行う文部科学省所管の独立行政法人「宇宙航空研究開発機構(JAXA)」を内閣府に移管する方針を固めた。かつて宇宙開発は学術目的に制限されてきたが、宇宙基本法が平成20年8月に施行され、安全保障や産業振興面での宇宙の開発・利用に大きく道が広がったことを受け、文科省の所管では限界があると判断した。産業界の積極的な参加を促し、ロケットや人工衛星の開発や商業利用に弾みがつくことが期待される。内閣府への移管は5月末に策定する5カ年の宇宙基本計画に盛り込み、22年度からの実施を目指す。河村建夫官房長官は22日、都内で講演し、「産業振興や安全保障などあらゆる面で宇宙開発の機能を強化するには文科省だけでは対応できない。国が責任を持ってやるには内閣府とJAXAが一体でやった方がよい」と述べ、移管により宇宙開発が飛躍的に進むとの見通しを示した。JAXAは宇宙航空研究開発機構法で、目的を「基盤的研究」に限定されていることから、政府・与

<http://sankei.jp.msn.com/politics/situation/090422/stt0904222024007-n1.htm>

20090424 Technobahn

組立作業も佳境、次世代有人ロケットの実験機「Ares I-X」

画像は組立作業も佳境に入った NASA 次世代有人ロケット「Ares I」第一次検証用実験ロケット「Ares I-X」。画像では1段ロケットが見当たらないが、1段ロケットに関しても既にユタ州にある Alliant Techsystems 工場で完成。先月、13日には陸路、フロリダ州に向け出荷され既に、ケープケネディ宇宙センタに届いている。当初、「Ares I-X」打上げは7月中を予定していたが、7月にはスペースシャトルによ

◆宇宙基本計画の骨子◆

月面探査

・月資源利用の可能性を探るため、月面有人活動も視野に入れた長期的な月探査を検討

安全保障の強化

・専守防衛を旨とする我が国には、各種事態の兆候を事前に察知する情報収集、警戒監視機能など、安全保障強化のための宇宙利用推進が必要
・2009年4月の北朝鮮のミサイル発射で、安全保障分野での宇宙の役割が高まっている

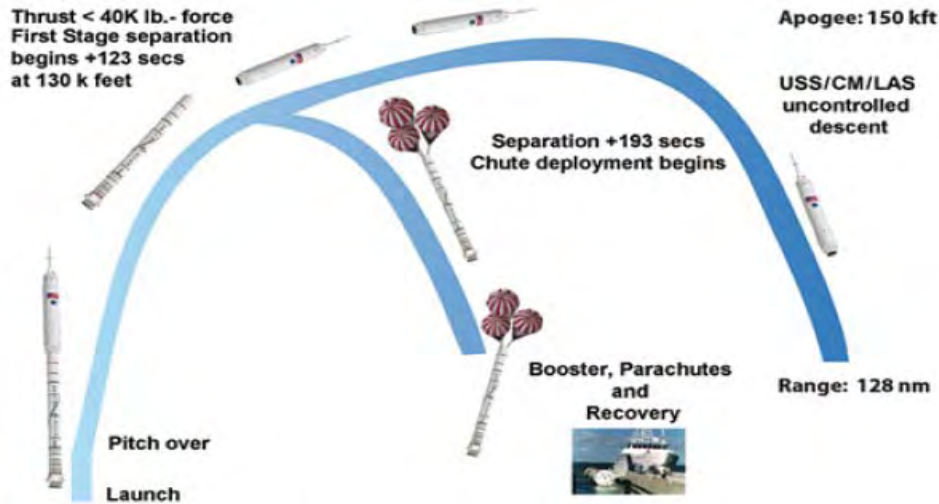
環境への配慮

・宇宙環境保全のため、ロケット打上げや人工衛星に起因するデブリ(ごみ)発生低減やデブリ監視強化に率先して貢献

党内では「商業化の前提となるコスト削減や信頼性向上への意識に欠ける」などの批判があった。このため、政府・与党は宇宙基本法の施行を受け、付則3条の「施行後1年をめぐりにJAXAその他の機関を見直す」との規定に基づき、組織形態の見直しを進めてきた。政府の有識者会議「宇宙開発利用体制検討ワーキンググループ」(主査・田中明彦東京大教授)は今月3日の中間報告で、宇宙開発・利用に関する内閣府の企画立案機能の強化を提言していた。内閣府への移管により、文科、経済産業など各省庁がバラバラに行ってきた宇宙関連政策を統合し、大規模かつ迅速な宇宙開発が可能となる。産業界の意見も反映しやすく、積極的な参入を促すこともできる。ただ、JAXAの予算は、21年度の宇宙関連予算3349億円のうち約6割(1918億円)を占めており、巨額な予算と権限を失うことになる文科省の抵抗も予想される。

<http://sankei.jp.msn.com/politics/situation/090422/stt0904222024007-n2.htm>

しも順調には進んではいない。画像下は第一次検証用実験ロケット「Ares I-X」飛行プラン。



<http://www.technobahn.com/news/200904242219>

2009/4/24 10:57 - Technobahn

6人乗り有人宇宙船は開発困難？ NASAが次世代有人宇宙船の仕様変更を検討

重量超過問題を解決するためにNASAが現在開発中の次世代有人宇宙船、オリオンの搭乗員数を当初予定の6名から4名に変更する方向で調整作業に入ったことが23日まで明らかとなった。オリオン有人宇宙船は2015年頃の初飛行が予定されており、2015年から2020年までの間は2010年の飛行で全機退役が予定されているスペースシャトルの代りに宇宙飛行士を国際宇宙ステーション(ISS)まで送り届ける任務に使用される予定。NASAでは搭乗員数を6名から4名に減らしてもISSとの往復用にはロシアのソユーズ宇宙船が利用できるため問題ないとしているが、搭乗員数を減らした場合、米国以外の宇宙飛行士を乗せる余裕はなくなることもつながり、将来のISSの運営にも大きな変更を余儀なくされる可能性もでてきた。当初予定のオリオン有人宇宙船のコマンドモジュールの仕様重量は21000ポンド(約9.5トン)

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200904241057>

だったが、開発を進める内に、この仕様条件では収まらないことが明らかになった。また、当初条件のままで行われた、大気圏再突入後の減速用パラシュートの展開実験にも失敗するなど、オリオン有人宇宙船の開発を難航を極める状況が続いていた。



2009/4/23 17:25 - Technobahn

NASAの有人月探査計画、300億ドルの予算不足の見通し

2020年までに第二の有人月旅行を実現することを目標に進められているNASAの「Constellation(コンステレーション)」計画実現のためには

300億ドル(約3兆円)の予算不足となる見通しであることが22日まで米国議会予算局(US Congressional Budget Office)が作成した

資料によって明らかとなった。NASA の当初の見通しではコンステレーション計画のためには NASA の総予算の 25% を投資することになっていたが、CBO では現状では 50% 超の予算を投じなければ期限内での計画実現は困難と予想している。仮に現状の予算配分のままで期限内にコンステレーション計画を実現するためには、NASA の総予算を 30% 前後も増大させる必要が生じることとなる。オバマ政権は米国経済が極めて困難な経済情勢であるにもかかわらず、コンステレーション計画実現のために既に、NASA の予算を増額する方針を示しており、更にこの上、30% もの予算増加を図ることは極めて困難な情勢。かといって、予算の天井を変えないでコンステレーション計画を実現するためには、他の科学探査関連の予算を半減する必要が生じることとなり、納税者の信頼を損なう可能性も生じることとなる。今回の CBO による報告書、オバマ政権にとっては大きな悩みの種となる可能性もでてきた。NASA のグリフィン前長官は、予算捻出のために、複数の科学探査計

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200904231725>

2009 年 4 月 23 日 人民網日本語版

「遥感衛星 6 号」打上げ成功、防災減災へ活用

中国は太原衛星発射センタで 22 日午前 10 時 55 分、運搬ロケット「長征 2 号丙」を使用し、リモートセンシング衛星「遥感衛星 6 号」の打上げに成功した。今回打上げられた「遥感衛星 6 号」は、中国航天科技集团公司傘下の上海航天技術研究院が開発・製造したもの。同衛星は主に、国土資源探査、環境観測・保護、都市計画、農作物生産量予測、防災減災、宇宙科学実験などの分野で利用され、将

<http://j.people.com.cn/95952/6643718.html>

-----同報-----

2009-04-22 14:07:00 China View SCI & TECH

China launches "Yaogan VI" remote-sensing satellite

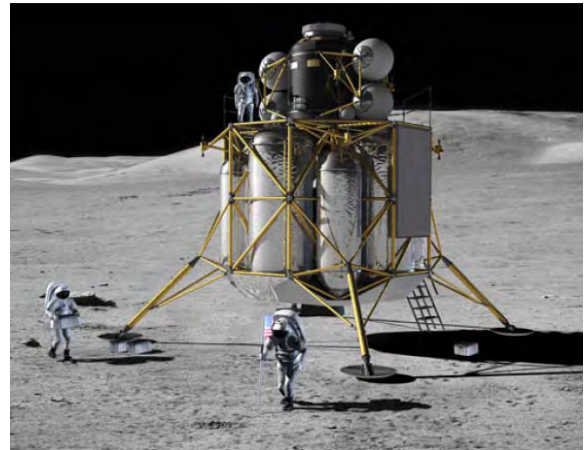
http://news.xinhuanet.com/english/2009-04/22/content_11231715.htm

2009/4/21 15:40 - Technobahn

軌道上からの電磁ビーム照射で台風の勢力を弱体化、米社が特許申請

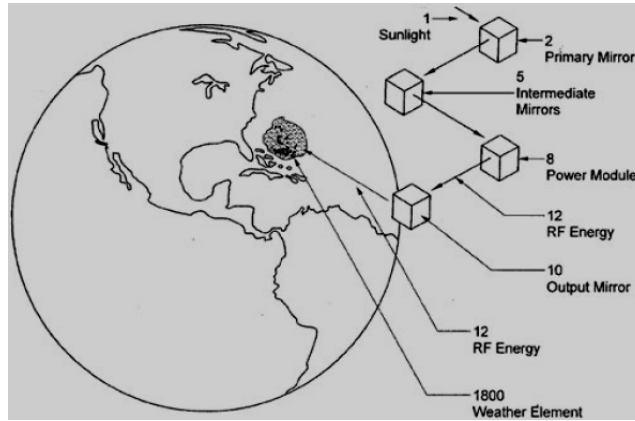
宇宙太陽光発電などの技術開発を進めている米ソーラーエン (SolarEn) 社が宇宙太陽光発電用に軌道上に投入した衛星ステーションから、台風やハリケーンに対して電力中継用の電磁ビーム照射を行うことで、台風の渦の内部の温度を人工的に上昇させ、台風の勢力を衰退させる技術を考案、米特許庁に特許申請を行っていたことが判った。この特許申請は「Weather management using space-based power system (宇宙発電システムを利用した気象管理)」(Publication number: US 2006/0201547 A1) というもの。特許申請の中でソーラーエン社は、熱帯性低気圧の渦の中心を狙い正確に高エネルギーの電磁ビーム照射を続けることにより、渦を形成する気流の

画を廃案にしたことから、NASA 幹部内で深刻な対立を招き、科学探査計画担当准長官のアラン・スターン (Alan Stern) 博士が准長官の地位を辞職するという事態も生じていた。



来的に中国国民経済の発展に積極的な作用をもたらす見込み。また、今月 15 日早朝に打上げられた中国 2 機目となる「北斗 GPS 衛星」は静止軌道に乗った後の 3 日間、宇宙での姿勢は良好で、搭載された機器類も正常に作動している。同衛星は 20 日、4 回目の軌道獲得指令を正確に受信、その後の観測データによると、同衛星は順調に予定軌道に入った。(編集 HT)

流れを衰退させることが可能であると述べた上で、移動を続ける熱帯性低気圧の渦の中心を狙って電磁ビーム照射を行うために複数のミラー衛星を使って電磁ビームの中継を行うと同時に、照射方法の制御を行うことを詳しく説明している。宇宙太陽光発電の実用化には国家予算クラスの巨額の費用が必要となることもあり、直ぐに、こうした気象管理システムができる可能性は低いが、今世紀中には台風やハリケーンの進路を人工的に変えたりすることも可能になる日が到来するかもしれない。



<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200904211540>

09.04.01 Sat DataBase Changes to the April 13, 2009 release of the UCS Satellite Database

This version of the database includes launches through April 1, 2009. The changes to this version of the database include:

- The addition of **21** satellites ///
- The deletion of **41** satellites ///
- The addition of and corrections to some satellite data

The relatively large number of satellites removed in this update does not reflect a surge in satellite failures. Instead, we had suspected many of these satellites were no longer operational, but only recently found enough sources to confirm it. Nota bene:

the Iranian satellite Omid was launched after the last update and became inactive before this update, so it never appears in the UCS Satellite Database.

Satellites Added:

- NROL-26 [USA 202] – 2009-001A
- Ibuki [GOSat] – 2009-002A
- Prism – 2009-002B
- SDS-1 – 2009-002C
- Kagayaki –2009-002D
- SOHLA 1 – 2009-002E
- SpriteSAT – 2009-002F
- Kukai – 2009-002G
- KKS-1 – 2009-002H
- Koronas-Foton – 2009-003A
- NOAA-19 – 2009-005A
- Express-AM44 – 2009-007A
- Express-MD1 – 2009-007B
- NSS-9 – 2009-008A
- Hot Bird 10 – 2009-008B
- SPIRALE-A – 2009-008C
- SPIRALE-B – 2009-008D
- Telstar 11N – 2009-009A
- Radula 1 [Cosmos 2450] – 2009-10A
- GOCE – 2009-013A

Navstar GPS 49 [USA 203] – 2009-014A

Satellites Deleted:

- UoSat-2 [Oscar 11] – 1984-021B
- SLDCOM-1 [USA 59] – 1990-050A
- SB-WASS 2-1 [USA 60] – 1990-050B
- SB-WASS 2-1 [USA 61] – 1990-050C
- SB-WASS 2-1 [USA 62] – 1990-050D
- LaCrosse/Onyx 2 [USA 69] – 1991-017A
- Intelsat 605 – 1991-055A
- Tubsat-A – 1991-050D
- SLDCOM-2 [USA 72] – 1991-076A
- Navstar GPS-35 [USA 94] – 1993-054A
- PoSat-1 [Oscar 28] – 1993-061D
- DirecTV-1 – 1993-078A
- Orbcomm FM1 – 1995-017A
- Orbcomm FM2 – 1995-017B
- Gorizont-44 -- 1996-034A
- SDS-II-3 [USA 125] – 1996-038A
- Iridium 33 – 1997-051C
- Iridium 28 – 1997-051E
- LaCrosse/Onyx 3 [USA 133] – 1997-064A

- Astra 5A – 1997-071A
- Orbcomm FM3 – 1998-007B
- Strela-3 [Cosmos 2352] – 1998-036A
- Strela-3 [Cosmos 2353] – 1998-036B
- Strela-3 [Cosmos 2354] – 1998-036C
- Strela-3 [Cosmos 2355] – 1998-036D
- Strela-3 [Cosmos 2356] – 1998-036E
- Strela-3 [Cosmos 2357] – 1998-036F
- Orbcomm FM17 – 1998-046A
- Orbcomm FM26 – 1998-053F
- Orbcomm FM28 – 1998-053H
- WavSat-2 [UoSat-12] – 1999-021A
- Orbcomm FM32 – 1999-065C
- Multispectral Thermal Imager – 2000-014A
- Meteor-3M-N1 – 2001-056A
- Nadezhda 7 [COSPAS 10] – 2002-046A
- KazSat 1 – 2006-022A
- PehuenSat-1 [Oscar 63] – 2007-001D
- CP-4 – 2007-012Q
- CSTB-1 – 2007-012R
- Persona N1 [Cosmos 2441] – 2008-037A

<http://www.ucsus.org/assets/documents/nwgs/changes-to-the-database-4-13-09.pdf>

TacSat-3 は画像の迅速な配信を実証予定

TacSat-3 to demonstrate rapid delivery of imagery

KIRTLAND AIR FORCE BASE, N.M. (AFNS) — Providing up-to-the-minute data to the in-theater commander can act as the tipping point to achieve success on the battlefield, and demonstrating that capability has been planned for the Tactical Satellite-3's upcoming, year-long mission. Serving as the spacecraft's primary payload, the Advanced Responsive Tactically-Effective Military Imaging Spectrometer, or ARTEMIS, will deliver processed information to the warfighter on the ground within 10 minutes, following a single-pass collection opportunity on a specified target. Dr. Thomas Cooley, TactSat-3 program

<http://www.af.mil/news/story.asp?id=123144823>

manager, explained that the ARTEMIS sensor delivers information by first measuring the spectrum for each point or pixel in an image. He said the goal of the sensor is to measure the spectral radiance that results from the reflection off of materials. "Most materials have a color spectrum," said Dr. Cooley. "They exhibit some kind of color, not just black, white or gray, when measured across a wide spectral range as ARTEMIS does from 400 to 2,500 nanometers, which encompasses all the visible light bands into the short-wave infra red." (後略)

宇宙兵器協定への代替

Alternatives to a space weapons treaty

Article Highlights

- ❖ Since the start of the space age, nations have argued over the definition of "space weapons."
- ❖ As such, devising a treaty that bans weapons from outer space has continually proved both elusive and problematic.

- ❖ But today, while not in treaty form, there are a multitude of international efforts and mechanisms gaining momentum that could keep space peaceful and sustainable for future generations.

Today, no accepted definition of a space weapon exists. Case in point: Recently, Space.com quoted a senior Pentagon official as saying, "There are no space weapons programs being funded by the U.S. Air Force." This statement was immediately criticized by many within the space arms control community as hypocritical and false. They cited the ongoing development of ground-based missile defense assets as evidence, along with dual-use space programs such as XSS-11 and MiTex and doctrinal statements of the importance of "space dominance."

Some experts consider a space weapon to be an object or device in orbit that is used to strike targets on the ground. Others consider a space weapon to be an object or device that can strike other targets in space. Still others consider a space weapon to be anything that can attack, degrade, or destroy satellites—whether from space, the ground, or air. These diverse definitions have frozen the international arms control debate over space weapons for decades. (後略)

<http://thebulletin.org/web-edition/op-eds/alternatives-to-space-weapons-treaty>

ボーイングはバイコヌールへ IndoStar II / ProtoStar II 衛星を出荷
Boeing Ships IndoStar II / ProtoStar II Satellite to Baikonur Launch Site

http://www.boeing.com/news/releases/2009/q2/090415a_nr.html



シャトルは宇宙ジャンクのリスクを巧みにかわす

Shuttle Dodges Space Junk Risk

Despite the recent rash of space-debris problems, the risk that the space shuttle mission to service the Hubble Space Telescope will have a catastrophic collision with space junk and micrometeoroids won't exceed NASA guidelines. NASA said Thursday the new orbital debris risk for STS-125 had fallen to 1 in 221. A couple of precautionary maneuvers -- in particular coming into a lower, less crowded orbit on the 10th day of the mission and using Hubble as a shield -- reduced the spaceship's chance of getting hit with a stray paint chip or metal bolt. New, more precise observations of the orbital debris encircling Earth also showed the amount of junk was slightly lower than had previously been calculated. The new information means the shuttle mission to the Hubble can fly without any safety reservations. "It's an improvement," said Steve Stich, the head of the orbiter project office at Johnson Space Center. An initial

<http://blog.wired.com/wiredscience/2009/04/spacedebris-1.html>

risk assessment in October calculated a 1 in 185 risk that a piece of space debris or a micrometeorite would hit the shuttle and cause a catastrophic loss of the crew and vehicle. Only the Hubble service mission STS-61 in December 1993 faced a higher calculated risk of a catastrophic hit by space junk, at 1 in 150. Risk higher than 1 in 200 requires a special waiver to fly. The absolute cut-off for a shuttle mission is 1 in 60. (後略)

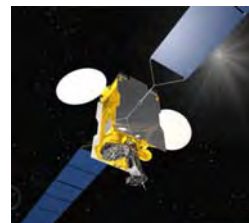


米軍事通信衛星が通信障害、多数の個人が通信中継機能を不正利用

大西洋上に位置する米海軍の軍事通信衛星「FltSat 8」が先月、個人による不正利用が原因で通信障害を起こしていたことが明らかとなった。その後の調査により障害の原因はブラジルで多数の個人がアマチュア無線の中継用に無断で通信衛星の回線を利用していたことによるものと判明。事態を重く見た米海軍ではブラジル連邦警察に犯罪行為があった事実を通報することで、通信衛星の回線の無断使用を続けてきた個人、数十名の検挙に至った模様だ。今回、無断利用されていたことが明らかとなった「FltSat 8」は 1989 年 9 月に打上げられた UHF 波を利用した旧世代の艦船用通信衛星。1978 年 2 月に打上げられた「FltSat 1」から「FltSat 8」までの合計 6 機(2 機は打上げに失敗して喪失)の衛星を赤道上の静止軌道に等間隔に投入することにより、地球の全域からの通信中継を可能としたものとなる。しかし、70 年代に開発された衛星のため、個人による無断利用などは想定されておらず、

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200904221828>

専門知識があればだれでも衛星を勝手に利用することが可能なまま放置されてきた。米海軍では次世代通信衛星となる「UFO (Ultra High Frequency Follow-On)」への移行を進めているが、予算上の都合もあり、「UFO」への移行は進んでいなかった。2007 年にはスリランカの反政府組織「タミル・イーラム解放のトラ(通称『タミルの虎』)」がインテルサットの IS-12 衛星をプロバガンダ番組の放送中継に無断で利用したり、電波妨害工作によりフランスの民間放送衛星機構「ユーテルサット」の運用が一時的に中断に追い込まれるなどの事件も起きていた。



フランスは軍事通信衛星を売却することで防衛支出を増やすことを計画中

(パリ)世界的な財政危機の中で、仏は軍事通信衛星ネットワークを売却し、新しいハード調達にしようとしている。しかし、空中給油

機他のプログラムのために考えられていた PFI(民間資金イニシアチブ)について考え直す必要も生じており、いくつかの調達計画が危ぶまれる状

況にある。パリで開かれた経済新聞レゾーの会議で、DGA(防衛装備庁)のローラン・コレビヨン長官は、政府はシラキーズ 3 システムを売却しリースバックすることを決めたと語った。さらに、私は 2018 年以降の軍事衛星通信の第四世代の調達は、PFIのもとで英と共同して行なうことを検討していると語った。私はシラキーズ 3 の売却・リースバック計画は、英スカイネット 5 の運営と似ることになるが、シラキーズ 3 がスカイネット 5 に取生まれ、二つが一つになるのかはまだ明らかではない。英は、すでにスカイネット 5 の契約者であるアストリウム/パラダイム社と交渉初期段階に入っており、4 機目の衛星調達と、2018 年に終了する現在の計画を 3 年間延長することにつき話し合っている。伊のような他の国が、この計画に参加するかは不明。業界情報によれば、シラキーズ 3 売却のための RFP が未発行なので、私政府要求がどのようなものは、わからない。アストリウム、タレス・アレニア・スペース/テレスパチオ、フランス・テレコムがこの入札に興味を示すであろうと考えられている。軍事衛星通信需要に対応するために民間資金を呼び込もうとする決定は、かなり躊躇した末の決定であり、財政危機のために国家財政以外からの資金注入がなければ私の 2009 年から 2013 年の軍事力強化は達成できないだろうという懸念にもとづいている。私議会は、新たな五カ

年計画の支出法案を審議し始めたところだが、これは緊急に必要とされる装備品と維持管理・即応体制向上のため、毎年 30 億ユーロを要する。この審議は予定よりも 6 ヶ月遅れているものの、大幅な予算削減は予期されていない。しかし、この法案実現の資金が十分ではないことがだんだんとわかってきた。コレビヨンによれば、資金難の度合は深刻であり、投資家たちは PFI スキームによる 12 機の MRTT(多目的給油・輸送機)など大規模調達について懸念をもつようになり、調達できなくなるかもしれない。この計画は、14 機の A330-200 型機を 27 年にわたって運用する英の 130 億ポンドの将来戦略給油機計画に、便乗する予定。コレビヨンによれば、PFI がそのままうまくいく可能性はないわけではないが、防衛装備庁としては、MRTT をリースするとか、購入するといった他の手段も考えにいれたいという。ソクラテス指揮管制ネットワーク近代化など、PFI を予定していたほかのプログラムも影響を受けるとコレビヨンはいう。もし民間資金の可能性がなくなったとき、我々は大きなプログラムに予算づけする他の方法を見つけることを余儀なくされる、と。しかし、国防大臣エルベ・モランは、財政状況は来年あたりには改善するかもしれず、部分的 PFI はできるといっている。

2009/4/17 19:16 - Technobahn

中国、ナミビアの衛星追跡ステーションを拡張

中国がアフリカ南西部に位置するナミビア共和国のスワコプムントにある衛星観測用の地上ステーションの規模拡張工事を進めていることが「Kanwa Information Center(漢和情報センタ)」の発表により明らかとなった。中国は中国本土以外ではパキスタンのカラチ、ケニアのマリンディに地上ステーションを、また、フランス、ブラジル、スウェーデン、オースト

ラリアにも現地政府との共用施設を、さらにこれらの地域からカバーできない領域には大型のパラボラアンテナを装備した遠望型衛星追跡艦を配備することで、衛星の追尾を行ってきた。スワコプムントの衛星波地上ステーションの能力拡大に伴い、中国の衛星追尾能力は米国と並ぶこととなる見通しだ。



<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200904171916>

右写真はAerospaceChina 09spring backcover Jiamusi Ground Station

04/13/2009 AP News Monday, April 13, 2009; Page A15 By Michael Donley and Norton Schwartz

F-22 を越えて、かなたへ向かう

Moving Beyond the F-22

The debate over whether to continue production of the F-22

Raptor has been one of the most politically charged and

controversial budget issues in recent memory, spawning lobbying efforts that include contractor-sponsored newspaper ads and letter-writing campaigns. The F-22 is, unquestionably, the most capable fighter in our military inventory. Its advantages include stealth and speed; while optimized for air-to-air combat, it also has a ground attack capability. We assessed the issue from many angles, taking into account competing strategic priorities and complementary programs and alternatives -- all balanced within the context of available resources. We are often asked: How many F-22s does the Air Force need? The answer, of course, depends on what we are being asked to do. When the program began, late in the Cold War, it was estimated that 740 would be needed. Since then, the Defense Department has constantly reassessed how many major combat operations we might be challenged to conduct, where such conflicts might arise, whether or how much they might overlap, what are the strategies and capabilities of potential opponents, and U.S. objectives. These assessments have concluded that, over time, a progressively more sophisticated mix of aircraft, weapons and networking capabilities will enable us to produce needed combat power with fewer platforms. As requirements for fighter inventories have declined and F-22 program costs have risen, the department imposed a funding cap and in December 2004 approved a program of 183 aircraft. Based on different warfighting assumptions, the Air Force previously drew a different conclusion: that 381 aircraft would be required for a low-risk force of F-22s. We revisited this conclusion after arriving in office last summer and concluded that 243 aircraft would be a moderate-risk force. Since then, additional factors have arisen. First, based on warfighting experience over the past several years and judgments about future threats, the Defense Department is revisiting the scenarios on which the Air Force based its assessment. Second, purchasing an additional 60 aircraft to get to a total number of 243 would create an unfunded \$13 billion bill just as defense budgets are becoming more constrained. This decision has increasingly become a zero-sum game. Within a fixed Air Force and overall Defense Department budget, our challenge is to decide among many competing needs. Buying more F-22s means doing less of something else. In addition to air superiority, the Air Force provides a number of other capabilities critical to joint operations for which joint

warfighters have increasing needs. These include intelligence, surveillance and reconnaissance, command and control, and related needs in the space and cyber domains. We are also repairing years of institutional neglect of our nuclear forces, rebuilding the acquisition workforce, and taking steps to improve Air Force capabilities for irregular warfare. It was also prudent to consider future F-22 procurement during the broader review of President Obama's fiscal 2010 defense budget, rather than as an isolated decision. During this review, we assessed both the Air Force and Defense Department's broader road maps for tactical air forces, specifically the relationship between the F-22 and the multi-role F-35 Joint Strike Fighter, which is in the early stages of production. The F-22 and F-35 will work together in the coming years. Each is optimized for its respective air-to-air and air-to-ground role, but both have multi-role capability, and future upgrades to the F-22 fleet are already planned. We considered whether F-22 production should be extended as insurance while the F-35 program grows to full production. Analysis showed that overlapping F-22 and F-35 production would not only be expensive but that while the F-35 may still experience some growing pains, there is little risk of a catastrophic failure in its production line. Much rides on the F-35's success, and it is critical to keep the Joint Strike Fighter on schedule and on cost. This is the time to make the transition from F-22 to F-35 production. Within the next few years, we will begin work on the sixth-generation capabilities necessary for future air dominance. We support the final four F-22s proposed in the fiscal 2009 supplemental request, as this will aid the long-term viability of the F-22 fleet. But the time has come to close out production. That is why we do not recommend that F-22s be included in the fiscal 2010 defense budget. Make no mistake: Air dominance remains an essential capability for joint warfighting. The F-22 is a vital tool in the military's arsenal and will remain in our inventory for decades to come. But the time has come to move on.



Michael Donley is secretary of the Air Force. Gen. Norton Schwartz is chief of staff of the Air Force.

4/13/2009 – Air Force Link WASHINGTON (AFNS)

Moving beyond the F-22

This op-ed piece appeared in the Washington Post on April 13, written by Secretary of the Air Force Michael Donley and Air

Force Chief of Staff Gen. Norton Schwartz.

(Washington post テキストと以下同文) .

<http://www.af.mil/news/story.asp?id=123144084>

-----関連ニュース-----

2009.4.13 airforce-magazine.com

Donley, Schwartz on F-22

Donley, Schwartz on F-22: Air Force Secretary Michael Donley and Chief of Staff Gen. Norton Schwartz offer their rationale for stopping the buy of new F-22 stealth fighters at 187 in an op-ed titled “Moving Beyond the F-22” in today’s Washington Post. In short, they write: “Buying more F-22s means doing less of something else” and there are many other critical and competing requirements within the Air Force budget. They note that “different warfighting assumptions” over the years have drawn different conclusions. While at one point the Air Force posited 381 F-22s as a “low-risk force,” Donley and Schwartz write: “We revisited this conclusion after arriving in office last summer and concluded that 243 aircraft [just 60 more than the then-programmed buy of 183] would be a moderate-risk force.” However, they continue, “Since then, additional factors have

arisen.” Those factors, they write, include DOD’s revised warfighting scenarios and the fact that “purchasing an additional 60 aircraft … would create an unfunded \$13 billion bill just as defense budgets are becoming more constrained.” They do not believe there is a need to overlap production of the F-22 with the F-35 as insurance since there is “little risk of a catastrophic failure” in F-35 production and it would be expensive. They contend that “air dominance remains an essential capability for joint warfighting,” calling the F-22 a “vital tool,” but they maintain, “The time has come to close out [F-22] production.” And, they note, “Within the next few years, we will begin work on the sixth-generation capabilities necessary for future air dominance.”

<http://www.airforce-magazine.com/DRArchive/Pages/2009/April%202009/April%2013%202009/Donley.SchwartzonF-22.aspx>

-----関連ニュース-----

Published: Apr 14, 2009 AIR-ATTACK.COM Source: AFNS

F-22 の先へむかう

Moving beyond the F-22 – OP/ED by SECAF Donley & CSAF Schwartz

WASHINGTON (AFNS) — The debate over whether to continue production of the F-22 Raptor has been one of the most politically charged and controversial budget issues in recent memory, spawning lobbying efforts that include contractor-sponsored newspaper ads and letter-writing

campaigns.

This op-ed piece appeared in the Washington Post on April 13, written by Secretary of the Air Force Michael Donley and Air Force Chief of Staff Gen. Norton Schwartz. (後略)

【編注】 上記青色テキストのみ追加で挿入されており、以下 Washington Post の原文と同じものが続く。

<http://www.air-attack.com/news/article/3657/Moving-beyond-the-F-22---OPED-by-SECAF-Donley-CSAF-Schwartz.html>

-----関連ニュース-----

2009年04月16日 人民網日本語版 **【編注】** 米ニュースは自国の話なのに、中国はそれをもとに日本の事をあれこれ記述。逆の立場なら内政干渉と言う。

日本の F22 戦闘機世界初輸入計画が頓挫の可能性

米空軍のドンリー長官とシュワルツ参謀総長は 13 日付「ワシントン・ポスト」電子版に、ゲーツ国防長官が 6 日発表した戦闘機 F22「ラプタ

の生産中止を支持する論文を連名で寄稿。アナリストは、日本の関係戦闘機輸入計画への影響を指摘。「解放軍報」伝。

日本は今年から2年間で、60機前後のF4戦闘機を廃棄。日本は長年来、F22を次世代主力戦闘機の最良選択肢と見なし、世界で初輸入することを欲してきた。だが米は軍事技術漏洩を恐れ、日本の要求を拒絶し続けてきた。米は日本と隣国との関係への影響を懸念しF22対日輸出に前向きでなかったと見る世論もある。米がこの最新鋭戦闘機生産を中止した場合、日本の近年来の努力は水泡に帰す可能性がある。これにつき自らは「世界的な不景気を背景に、米側の輸出規制緩和を期待したが、このような状況になるとは、一層残念」としている。一方、防衛省シンクタンク日本防衛研究所は「米は軍事技術移転において非常に慎重。F22は英豪他の国々にも輸出されていない。日本が米からこうした特別待遇を得ようとするのは難しい」と指摘。報道によると、すでに日本はF4後継機としてF22以外の機種検討を

<http://people.icubetec.jp/a/c14587de73804cf5affb874d49ac4f7d>

始めた。候補機にはロッキード社 F35、ボーイング社 F15FX と F/A-18E/F、仏ダッソー社のラファールなどが挙げられている。欧州からの輸入以外に、防衛省は2015年度までに394億円を投じステルス戦闘機「心神」開発も計画。(編集 NA)



米空軍のF22A ラプタ戦闘機

2009/4/22 15:02 - Technobahn **【編注】** T-38は先月、初飛行から50周年記念、派生型にはF-5、まあBVR(beyond visual range)からなら別。

F-22 神話がまた一つ崩壊、模擬格闘戦演習でT-38によって撃墜

米空軍で行われた戦闘機模擬格闘戦で、ジェット練習機 T-38 が最新鋭 F-22 を最終的にターゲットサイト内に収め「撃墜」したことが18日までにユーチューブに公開された T-38 側から模擬格闘戦撮影映像によって明らかと。(後略)



<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read?f=200904221502>

-----T-38-----



http://en.wikipedia.org/wiki/T-38_Talon

2009/4/22 19:12 - Technobahn

ハッカーが米国防総省に侵入、F-35の設計情報が外部流出

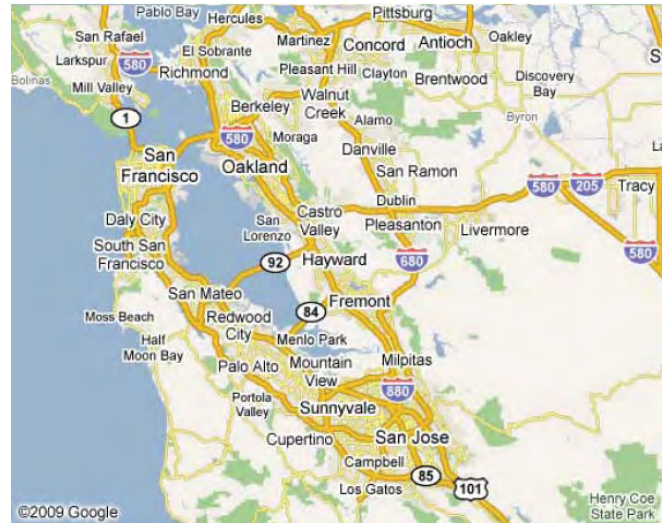
米国防総省のコンピュータ・ネットワークに何かが侵入し、開発中のF-35統合打撃戦闘機の設計情報持ち出しに成功していたことが21日、米ウォールストリートジャーナル(WSJ)紙報道によって明らかと。WSJ紙では元政府関係者(Former U.S. officials)発言として「侵入の発信源は中国の可能性が高い」としているが、ネット経由での侵入の元を特定することは非常に困難と述べている。今回の侵入により、どれだけの情報が流出したのかなど、国防政策に与える影響度は不明。しかし、最近公表された国防総省による報告書では中国のよるネット攻撃の手口洗練化が指摘されていた。



2009/4/12 12:05 - Technobahn

サンフランシスコ郊外で通信網の破壊工作、光ファイバ・ケーブルが切断

サンフランシスコ郊外のベイエリアで 9 日の未明から早朝にかけて、AT&T の光ファイバ・ケーブルの意図的切断事件が発生。ケーブル網切断のため、サンタクララ、サンタクルーズ、サンベネトー帯で電話回線やインターネット回線がダウンという事態が起きた。切断された光ファイバ・ケーブルは 4 箇所、計 10 本。今回、被害を受けた AT&T は、4 月 4 日付で失効した雇用契約を巡って全米通信労働者組合 (Communications Workers of America) との間で労使紛争を起こしていたことから、一部では、労使紛争のもつれから過激分子が破壊工作に打ってでたのではないかと、といった見方もでている。捜査当局によると今のところ、テロとの可能性は低いとした上で、全力を挙げて犯人を検挙すると述べている。AT&T では事件解決に結びつく情報提供者には懸賞金 10 万ドル(約 1000 万円)を与えることも発表。



2009 年 4 月 9 日 中国国際放送局 日本語部

中国外交部、アメリカへのサイバー攻撃を否認

中国外務省の姜コ報道官は 9 日北京での記者会見で、中国によるアメリカへのサイバー攻撃を否認。席上、中国とロシアがアメリカ政府のコンピュータにサイバー攻撃を行っているとのほど報道されているが、これについてのコメントをという記者の質問に姜コ報道官は、「アメリカ・ホワイトハウスがすでにこの報道を否認したことに中国は留意している。つ

まりこのような報道は事実まったくそぐわないのである。われわれは一部のメディアがいくつかの事実でない言論、特に中国に対する非難の言論を慎重に処理するよう望む。中国側はこの様な問題の解決で国際協力を強めていきたい」と表明。

2009 年 4 月 1 日 人民網日本語版

外交部:「中国ネットスパイ」は全くとでち上げ

外交部の定例会見で 3 月 31 日午後、秦剛報道官が記者の質問に答えた。――中国拠点コンピュータネットワークが、世界 100 カ国の 1000 台以上のコンピュータに対しスパイ活動を行っている、多数の西側メディアが報じていることについて、コメントは。中国政府はコンピュータネットワークの安全を一貫して重視しており、ハッカー行為を含め、インターネットおよびコンピュータネットワークシステムを破壊するいかなる犯罪行為に対しても断固反対し、かつ厳しい取締りを行っている。中国

の関係法規はこれについて明確な規定を持つ。現在の問題は、いわゆる中国ネットスパイのデマを捏造することに熱中する人々が国外にあり、全くとでち上げを口にしていうこと。指摘したいのは、国外には「冷戦」という名の「亡霊」があり、「中国脅威論」という名のウイルスがあり、「冷戦亡霊」に取り憑かれた人は「中国脅威論」のウイルスを持運び、たびたび発作を起こす。デマを利用して中国に泥を塗ろうとするこうした人々の企みは決して思い通りにならない。(編集 NA)

2009/3/25 20:12 - Technobahn

中国、Youtube へのアクセスを全面禁止

中国が 24 日付でビデオ交換サイト「Youtube(ユーチューブ)」へのアクセスを禁止する処置を講じていたことが、ユーチューブの発表により明

らかとなった。ユーチューブでは中国国内からアクセスができない状態になっていることを確認したが、今のところ中国側がアクセス禁止の処置を

講じた理由に関しては判らないと述べている。中国青海省チベット族自治州で 21 日、チベット仏教僧侶らの暴徒が警察署を襲撃する事件が発生しており、その事件の様相を撮影したビデオ映像がユーチューブにアップロードされる状況となっていたことが今回のアクセス遮断の要因となったものと見られている。今月はチベット独立を求めるデモをきっかけとした「チベット動乱」から 1 周年を迎えることもあり、中国当局はチベット独立運動関連の動きを警戒していた。

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200903252012>

2009/4/22 15:24 - Technobahn

米ジェネラル社、ジェットステルス無人攻撃機「アベンジャー」を初公開

米ジェネラル・アトミックス社は 21 日、RQ-1「Predator(プレデター)」をベースに開発を進めてきたジェットエンジンを搭載した初のステルス無人攻撃機「Predator C『Avenger(アベンジャー)』」の機体映像を初めて公開した。低速長時間の偵察任務用のためにレシプロエンジンを搭載したプレデターの設計思想を一新、セスナ、サイテーションXLSで採用されているプラット・アンド・ホイットニー製の Canada PW545B ジェットエンジンを搭載することで 740km/h の最高速度をマーク(プレデターの最高速度は 220km/h)。実用上昇限度もまた、高度 6 万フィート(18km)を達成することに成功。また、高速での巡航飛行に合わせて主翼は 17 度の後退翼やステルス性向上のための V テイル型の垂直尾翼を採用するなど、大型の戦略偵察機、RQ-4「Global Hawk(グローバルホーク)」

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200904221524>

2009/4/16 19:39 - Technobahn

アフガニスタンで未確認の無人航空機、米軍の秘密兵器の可能性

アフガニスタンの米軍基地にこれまで存在が確認されたことのないナゾの無人航空機が駐機している様相が目撃されていたことが英航空専門誌「SHEPARD(シエパード)」の報道により明らかとなった。この無人航空機は全翼機で、後部にはエンジンノズルが 1 基備えた形状をしたもの。主翼の前部には三日月状のジェットファン用のダクトが搭載されるなど、外見的特徴はロッキードの先端航空機開発部門「Skunk works(スカンクワークス)」が開発中の P-175「Polecat(ポールキャット)」に似ているが、シエパードでは「主翼の先端が鋭角的になってはならず、ポールキャットではないようだ」と述べている。胴体は、大型の装備もしくは衛星通信用のアンテナを収めるために膨らんでおり、下部には

Image Courtesy Shephard Group Limited.

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200904161939>

2009 年 4 月 2 日 人民網日本語版

中国のレーダ攪乱型無人機が北京に登場



並の飛行性能をプレデターとほぼ同等の小型の機体で実現することを可能にした極めて意欲的な UAV(無人航空機)となる。ジェットエンジンを搭載したアベンジャーの場合、従来機の 3 分の 1 の時間で攻撃目標まで到達することが可能ということもあり、米軍ではアベンジャー(Avenger=復讐)をその名の通り、敵対的目標に対する攻撃任務などに利用していく方針。



攻撃ミッション用のウェポンベイも装備しているとも述べている。P-175 は 2006 年 12 月に行われた試験飛行で墜落したことがロッキードの発表によって明らかとなっているが、その後の P-175 に関する消息は不明が続いていた。



中国レーダ業界協会、保利科技有限公司、中電科技国際貿易有限公司といった機関が共催した「2009年世界レーダ博覧会」が1日、北京展覧会で開幕。同会では中国の航空、航海、軍事、交通運輸といった分野におけるレーダ関連科学技術の利用と成果を展示。写真は中国企業が展示した、滞空時間2時間、レーダ攪乱設備やレーダ信号受信、シミュレーションのレーダ信号発射に用いる設備を搭載した中国WF-480-EW軍用科学研究無人機。(編集 YH)



<http://j.people.com.cn/95952/6628213.html>

2009年3月25日 人民網日本語版

国産大型機の開発が抱える困難

国産大型機プロジェクトを請け負う中国商用飛行機公司はこのほど、設計開発センタを上海市浦東の張江に置くことを発表した。同公司副総経理を務める大型機総設計師の呉光輝氏は5日、「大型機プロジェクトの実行可能性研究がこのほど完了した。設計・統合・組み立てを中国が自ら行い、完全に自前の知財権を持つ国産大型機は、8年から10年以内に空を飛ぶことになるだろう」と語っている。それでは、中国の大型機プロジェクトにはどんな困難があるのだろうか。新華社伝。フランスに本部を置く英字紙「インターナショナル・ヘラルド・トリビューン」は2月25日、「中国は今後、国産大型機の製造を通じて、米ボーイング社や欧州のエアバス社と競争を展開していくことになる」と報じた。英紙「デイリー・テレグラフ」は2月20日、「中国による大型機の製造は、有人宇宙船の開発に続く意欲あふれる計画だ」と報じた。

「大型機」とは何を指すのか。「機体が大きく、積載量が大きな飛行機」というだけでは完全には正しくない。「大型機」は一般的に、離陸時の総重量が100トンを超す軍用輸送機と、1フライトで3千キロの飛行が可能で100席以上の民間機と指す。製造技術が複雑で投資が巨額であるため、大型機の製造が可能なのは、フランス・ドイツ・英国のヨーロッパ3カ国と米国・ロシアだけだった。さらに、民用航空市場を占めているのは米国のボーイング社と欧州のエアバス社の2社にすぎなかった。中国は実は30年前にはすでに、「708プロジェクト」といわれる国産大型ジェット機の製造にとりかかっていた。1980年9月26日、上海市北郊空港で、中国初の大型機「運-10」がテスト飛行に成功し、国際耐空基準に照らして設計された初の国産機となった。中国はその後、「空中快車」「麦道90」などの大型機プロジェクトを実施したが、さまざまな原因によって、これらのプロジェクトは数年後に停止となった。中国の新たな大型機プロジェクトは昨年3月、正式に立ち上げられた。

中国の技術力と工業環境は数十年を経て画期的に発展した。だが中国の大型機が「エアバスA380」や「ボーイング787」のように空を飛び回るようになるためには、まだいくつかの技術的な難関を乗り越えなければならない。大型機の生産プロセスは、空気動力学や素材学、航空電子学などの複数の研究分野にかかわる。化学工業や電子、冶金などのさまざまな部門に関連する大型機産業は、「現代工業の花」と呼ばれている。中国航空第二集団科技委員会の崔徳剛・副主任は2月、「中国の開発する民用大型機が国際競争力を持ち、耐空基準に達することを確保するためには、最も要となるエンジン技術や、先進複合材料技術、耐久性と信頼性の高い構造の設計技術など、技術面での多くの突破が必要となる」と語る。先進複合材料を例とすると、軽度や強度の高さと腐食や疲労への耐性などが求められる大型機の製造にあたっては、各種の材料の長所をいかした複合材料が一般的に使われる。大型機の複合材料の主流は現在、従来の先端アルミニウム合金から高強度炭素繊維に移っており、性能を大きく上げたと同時にコストをさらに引き下げた。ボーイング社とエアバス社のサイト上の資料によると、「ボーイング787」の複合材料の使用量は構造全体の重量の50%に達している。両社の製造する大型旅客機は2020年までに全てで複合材料を採用することになる。一方、中国の持つ技術の多くは金属製飛行機の製造技術にとどまっており、先進複合技術の研究と製造技術では世界の先端レベルに大きく遅れを取っている。もう一つの問題はエンジンだ。大型超高速ジェット旅客機の動力源はエンジンであり、その設計にあたっては、力学・機械・素材・化学などのさまざまな知識が必要となる。大型機と大型機エンジンのプロジェクトが同時に打ち出されたことも、エンジン開発の重要性を物語っている。(編集 MA)

<http://j.people.com.cn/94476/6621908.html>

<http://j.people.com.cn/94476/6621910.html>

<http://j.people.com.cn/94476/6621911.html>

2009年4月26日 07:00 nikkei.co.jp

リチウムイオン電池、出力1.7倍 日立が開発

日立製作所は出力が現行製品の 7 割増と世界最高性能のリチウムイオン電池を開発。発進時に高出力が求められるハイブリッド車向けで、一段の小型・軽量化が可能に。量産技術開発を進め、2010 年代半ばに商業生産開始を目指す。開発したリチウムイオン電池は、出力密

<http://www.nikkei.co.jp/news/sangyo/20090427AT1D240D925042009.html>

2009/4/17 20:38 - Technobahn

これがレールガン、米海軍の次世代戦闘艦に搭載予定

画像は BAE が開発中の実用レールガンの完成模型。米海軍では次世代戦闘艦の砲塔としてこの兵器を搭載することを予定している。レールガンの場合、電位差のある二本の伝導体制のレールの間に、電流を通す伝導体を弾体としてはさみ、この弾体上の電流とレールの電流に発生する磁場の相互作用によって、弾体を加速して発射する。火薬を用いた弾体を発射する従来型砲の場合、火薬が起爆した際の燃焼によりほとんどのエネルギーが使われてしまうために、エネルギー効率が低く、弾体の初速度を上げることは既に限界となっている。そのため、米海軍で用いられている MK 45/5 インチ型砲塔の場合、射程距離は 20 マイル(約 32 キロ)前後しかない(戦艦大和の主砲でも射程距離は約 42 キロ)。一方、レールガンの場合には化学的爆発のような不効率な部分が少なく理論上は入力する電流が高ければ高い程、高いエネルギーで弾体を発射させることが可能となるため、米海軍では、レールガンを用いれば、従来型兵器(MK 45)の 10 倍の 200 マイル(約 320 キロ)の射程距離を持つ砲塔の開発が可能と見ている。想定されている



<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200904172038>

2009/3/27 21:30 - Technobahn

僚艦と衝突事故を起こした米海軍の原潜「ハートフォード」

画像は今月 20 日、中東のホルムズ海峡を航行中に僚艦の輸送揚陸艦「ニューオーリンズ(USS New Orleans)」と衝突事故を起こして損傷を受けた米海軍のロサンゼルス級原子力潜水艦「ハートフォード(USS Hartford)」。ホルムズ海峡の近くでは 2005 年にも米海軍の原潜「フィラデルフィア(USS Philadelphia)」がトルコの商船と衝突事故を起こしていた。また、米海軍の原潜「グリーンヴィル(USS Greeneville)」は 2001 年にハワイのオアフ島沖で愛媛県立宇和島水産高等学校所属の訓練船「えひめ丸」と衝突事故を起こし、実習生 4 名、教官 2 名、

度(重量 1 キログラム当りの出力)が 4500 ワット。日立が現在販売している電池に比べ 1.7 倍、来年量産予定の最新型電池と比べても 1.5 倍の出力。

実用レールガンの場合、弾体はマッハ 7.5 の初速で発射され頂点が高度 150 キロの弾道飛行コースを描き、最大 200 マイル離れた目標地点にまで到達する。目標に到達時点の速度でもマッハ 5.0 と非常に高速を維持しているため、弾体に起爆性のある爆発物などを用いる必要性はなく、目標に衝突した際の衝撃だけで完全にほとんどの目標を破壊することが可能。発射時の速度が既に超音速に達していること、更に、通常の弾道ミサイルのようにブーストを行うことがないため、こうした兵器の発射を確認できたとしても迎撃手段は事実上、存在しないことも開発を主導している米国にとっては利点と写っているようだ。この未来兵器、弾体に誘導装置が搭載されることとなり、今後はいきなりマッハ 7.5 まで加速するという壮絶な重力加速度環境の元でも耐えられる誘導装置の開発に主眼が置かれそうだ。画像下は 2008 年 1 月に行われた 32MJ 型レールガン実験装置による弾体発射の様相を撮影したもの。発射時の爆風のようなものは恐らく超音速で射出された弾体が周囲の空気を一瞬で熱プラズマ化した際に生じた現象。



船員 3 名の計 9 名が死亡するという大事故を起こしていた。今回、僚艦と衝突事故を起こしたハートフォードは、潜望鏡深度で航行を行っていた。



2009/3/26 16:57 - Technobahn

ノースロップ・グラマン、105KW の実用レーザー兵器システムを発表

ノースロップ・グラマンは 18 日、兵器グレードのレーザーとしては史上最高出力となる 105 キロワットの半導体レーザーシステム「Joint High Power Solid State Laser (JHPSSL) Program, Phase 3」を発表した。JHPSSL はモジュラ型のシステムブロックで構成されており、システムブロックを追加することによりレーザー出力の増減が可能という特徴を持つ。同社では 8 つのシステムブロックでレーザーチェーンを構築した場合には 120 キロワットまで出力を拡大させることが可能になると述べている。電源投入 1 秒未満での発射状態にすることが可能、また、連続 5 分間の連続発射が可能など、戦場での利用を考慮した実戦的機能が搭

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200903261657>

載されていることも JHPSSL の特徴となっており、ノースロップ・グラマンは拠点防衛のためのミサイル迎撃システムでの実用化を見込んでいる。



宇宙ニュースの小部屋 <http://d.hatena.ne.jp/t-naka/200904>

2009-04-25-Sat SpaceX社プレスリリース(4/23) <http://www.spaceref.com/news/viewpr.html?pid=28044>

■[実用衛星]SpaceX 社、Draco スラスタの認定試験を完了

コメント: テキサスにあるテストスタンドのツアービデオがあります。ブロックハウスの中もちょっと映ります。F9 テストスタンドでっぺんまで登るのに作業帽もヘルメットもしないのはいかがでしょうかと思いますけどね～

NASA Watch(4/24) http://www.nasawatch.com/archives/2009/04/planet-space_cot.html

■[機関]GAO、COTS 契約に関する Planet Space 社の提訴を却下

NASA が COTS 契約の契約相手方を SpaceX と OSC としたことに対する、Lockheed Martin, Boeing, Alliant Techsystems の合弁会社である Planet Space の異議申立ては却下された。

2009-04-23-Thu JAXAプレスリリース(4/22) http://www.jaxa.jp/press/2009/04/20090422_cft_j.html

■[ロケット]JAXA、H-IIIB の第2回 CFT を実施

SpaceDaily(4/23) **[編注]** 元のリンクつながらず、代わりに右でどうか http://news.xinhuanet.com/english/2009-04/22/content_11231715.htm

■[ロケット]中国、リモートセンシング衛星の打上げに成功

2009-04-20-Mon Spaceflightnow(4/20) <http://www.spaceflightnow.com/news/n0904/20pslv/>

■[ロケット]インド、PSLV によるレーダ偵察衛星打上げに成功

Spaceflightnow(4/20) <http://www.spaceflightnow.com/sealaunch/sicral1b/>

■[ロケット]SeaLaunch、イタリアの軍事通信衛星の打上げに成功

Spaceflightnow(4/19) <http://www.spaceflightnow.com/news/n0904/19falcon1/>

■[ロケット]SpaceX 社、振動環境レベルに対する懸念で Falcon 1 ロケット 5 号機の打上げを延期

今週の軍事関連ニュース <http://www.kojii.net/news/index.html>

DefenseNews.com <http://www.defensenews.com/>

C4ISR Journal <http://www.C4ISRJournal.com/>

Space News <http://www.space.com/spacenews/>

シーロンチは HNS に\$52M を支払うように命じた

Sea Launch Ordered to Pay HNS \$52 Million

PARIS — An arbitration panel has ordered Sea Launch Co. to pay Hughes Network Systems (HNS) about \$52 million in a dispute over whether HNS had a right to terminate a launch contract and

demand a full refund of its prelaunch payments, according to an April 22 Boeing Co. submission to the U.S. Securities and Exchange Commission (SEC).

Thaicom の会長、突然の辞任

Thaicom Chief Abruptly Resigns Post

PARIS — Longtime Thaicom Executive Chairman Dumrong Kasemset is resigning his position effective May 13, the day the Thai satellite fleet operator is scheduled to report its

first-quarter earnings, Thaicom said April 23 in a surprise statement to the Stock Exchange of Thailand.

インド、初のレーダ衛星打上げ

India Launches First Radar Satellite

BANGALORE, India — India launched its first radar imaging satellite along with a university-built messaging spacecraft April 20 from the Satish Dhawan Space Centre on the country's

southeastern coast aboard a Polar Satellite Launch Vehicle (PSLV) rocket.

Griffin 元 NASA 長官はホワイトハウスの予算担当者を激しく非難

Griffin Slams White House Budget Staffers

WASHINGTON — Former NASA Administrator Mike Griffin said the United States is in danger of giving up its leadership in space

and that staff-level White House budget officials — not the president or Congress — are largely to blame.

シーロンチはイタリアのSicral 1B軍事通信衛星を打上げ

Sea Launch Lofts Italy's Sicral 1B Satellite

PARIS — A Sea Launch Zenit 3SL rocket successfully placed Italy's Sicral 1B military telecommunications satellite into geostationary transfer orbit April 20 in the first of what is likely

to be just two launches from the oceangoing Sea Launch platform this year as the Long Beach, Calif.-based company works to resolve rocket-component supply issues.

SESとYahsat はジョイント・ベンチャー会社を創設予定

SES, Yahsat to Create Joint Venture Company

PARIS — Satellite fleet operator SES of Luxembourg and start-up operator Yahsat of Abu Dhabi will create a joint-venture company that will own 23 Ku-band transponders on the Yahsat 1A satellite to be launched in late 2010. The capacity will be

leased to regional television broadcasters, the two companies announced April 20. SES is investing \$50 million in cash in the new venture.

[Lockheed Martin Press Releases](http://www.lockheedmartin.com/news/) <http://www.lockheedmartin.com/news/>

[Boeing News Releases](http://www.boeing.com/news/releases/index.html) <http://www.boeing.com/news/releases/index.html>

[JDW, Jane's Defence Weekly](http://jdw.janes.com/public/jdw/index.shtml) <http://jdw.janes.com/public/jdw/index.shtml>

[\[平山ニュース\]](http://www.wikihouse.com/space/) <http://www.wikihouse.com/space/> バックナンバ <http://backno.mini.mag2.com/M0000575>

[NEWS]

4/23 HTV 種子島に到着(JAXA)

4/22 0255GMT 打上成功:地球観測衛星 遥感6号,長征2C,太原

4/22 JAXA を内閣府に移管の方針(毎産)

4/22 宇宙基本計画の原案(時経)

4/20 0816GMT 打上成功:軍事通信衛星 Sicral 1B(伊),Sea Launch(Zenit3SL),太平洋上

[EVENT]

5/1 150m クライマー公開実験,宇宙エレベーター協会,日本大学(船橋)

4/26 JAXA i 春のキッズデー2009

4/25-2010/3/31 プラネタリウム「横浜から宇宙へ」,横浜こども科学館

4/14-7/12 もっと宇宙に近づこう「宇宙科学、太陽、月の世界へ」,大阪府立大型児童館ビッグバン

[学会]

5/26-29 12th ISCOPS(環太平洋国際宇宙会議),Montreal

5/24-26 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2009,福岡国際会議場

4/27-30 1st IAA 2008 Planetary Defense Conference,Granada,Spain

4/23 聴講申込締切:国際宇宙ステーション利用の成果国際シンポジウム, 4/26,東京国際フォーラム

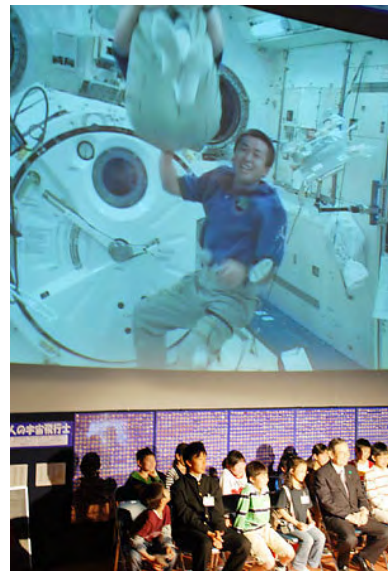
[中国宇宙開発-1 Morning China] <http://www.wsichina.org/morningchina/topiclist2.asp?id=54>

[中国宇宙開発-2] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/china_space_exploration/

憧れの宇宙飛行士登場に、小学生が大興奮—南京(サーチナ)27日 - 8時42分 *C11



*C11



*S15

中国、環境調査衛星「遥感衛星 6号」打上げに成功(サーチナ)23日 - 20時10分

[宇宙開発] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/science/space_exploration/

〈国際宇宙ステーション〉クロール、進まない!! 若田さんが「おもしろ実験」(毎日新聞)28日 - 14時1分

ボールで遊ぶ若田さん(時事通信)27日 - 22時6分 *S11



*S11



*S12

宇宙でラジオ体操をする若田さん(時事通信)27日 - 22時6分 *S12

若田光一さん 「クロール進まない!」宇宙でおもしろ実験(毎日新聞)27日 - 21時52分 *S13

若田さん、宇宙でラジオ体操=小学生ら提案「おもしろ実験」(時事通信)27日 - 21時14分

〈若田光一さん〉テーマ公募の「おもしろ宇宙実験」実施(毎日新聞)27日 - 19時55分 *S14



*S13



*S14

若田さんの訓練が体験できる 予約はお早めに(産経新聞)25日 - 19時36分

子どもたちと交信する若田さん(時事通信)25日 - 9時8分 *S15

若田さん「宇宙すばらしい」=小中学生らと交信-さいたま市(時事通信)24日 - 23時2分

きぼうの窓から日本見えた=若田さん(時事通信)24日 - 16時10分 *S16

きぼうの窓から日本見えた=若田さん撮影、公開-宇宙機構(時事通信)24日 - 15時37分

JAXA、内閣府に移管 宇宙開発、偵察衛星や商業利用加速(産経新聞)23日 - 7時56分

「JAXA」内閣府に移管 宇宙開発 商業利用を加速(産経新聞)22日 - 20時27分

<JAXA>機能強化で所管変更検討の考え 官房長官表明(毎日新聞)22日 - 19時34分

NASAとスノーピーの関係 日本橋三越で紹介(産経新聞)22日 - 14時40分

KSLV-1 飛行ルート、政府「日本との合意不要」(YONHAP NEWS)22日 - 9時30分

韓国、7月にロケット打上げ…日本政府は静観へ(読売新聞)21日 - 22時5分

日本の領海上空通過へ=7月末に韓国ロケット(時事通信)21日 - 20時46分

地球外生命体は存在する? 元NASA宇宙飛行士が熱弁(CNN.co.jp)21日 - 14時51分

車椅子の英宇宙物理学者、ホーキング博士が緊急入院(ロイター)21日 - 13時22分 *S17



*S16



*S17

[ミサイル防衛] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/missile_defense_system/?1181274734

[北朝鮮ミサイル開発問題] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/north_korean_missiles/

<北朝鮮>中朝国境の緩衝地帯にミサイル基地建設=米軍の攻撃回避が狙い—NGOリポート(Record China)25日 - 18時8分

政府系3社の資産凍結決定(産経新聞)25日 - 15時18分

北朝鮮企業3社の資産凍結を決定、ミサイル発射で国連制裁委(CNN.co.jp)25日 - 14時12分

北朝鮮外相が訪中=「ミサイル後」で初(時事通信)25日 - 13時18分

国連安保理の北朝鮮制裁委、3社を資産凍結対象に指定(ロイター)25日 - 12時52分

核活動の再開表明=燃料棒再処理に着手-北朝鮮(時事通信)25日 - 12時4分

国連 北朝鮮3組織の資産凍結を正式決定 安保理で(毎日新聞)25日 - 10時58分

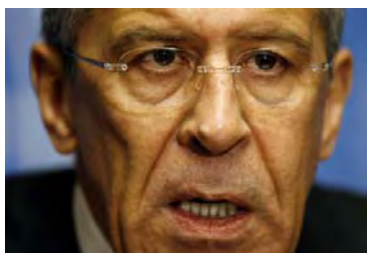
<国連>北朝鮮3組織の資産凍結を正式決定 安保理で(毎日新聞)25日 - 10時57分
北朝鮮3社を資産凍結対象に初指定…安保理制裁委(読売新聞)25日 - 10時38分
3団体の資産凍結制裁リストを採択 国連安保理(産経新聞)25日 - 9時22分
資産凍結3団体前後 国連、対北制裁で初 日米は14を提案(産経新聞)25日 - 7時58分
政府、早期警戒衛星の導入検討 MD運用、米依存脱却(産経新聞)25日 - 7時57分
北朝鮮の3企業を制裁指定=資産凍結を初めて実施-安保理(時事通信)25日 - 7時35分
日本社会に蔓延する「北朝鮮恐怖症」—中国ブログ(Record China)25日 - 7時20分
国連初の対北制裁 3団体前後を資産凍結(産経新聞)25日 - 1時48分
6カ国協議再開へ連携=麻生首相、29日から訪中(時事通信)24日 - 20時35分
<国連>北朝鮮3組織の資産凍結…安保理、合意へ(毎日新聞)24日 - 15時1分
対北、核軍縮で連携強化=日米首脳(時事通信)24日 - 11時30分
日米首脳が電話会談 6カ国協議再開へ連携確認(産経新聞)24日 - 11時8分
対北、核軍縮で連携強化=日米首脳が電話会談(時事通信)24日 - 10時7分
麻生首相 集団的自衛権行使の解釈変更を本格検討へ(産経新聞)24日 - 2時6分
<6カ国協議>再開「突破口見えず」…露朝外相が会談(毎日新聞)23日 - 21時42分
<宇宙基本計画>政府の戦略本部、自民党特別委に概要報告(毎日新聞)23日 - 20時38分
「北朝鮮に屈してはならない」…米國務長官、取引拒絶の構え(読売新聞)23日 - 10時59分
北朝鮮、ミサイル開発者を「強く叱責」 ロシア誌報道(産経新聞)23日 - 0時53分
早期警戒衛星導入を検討=北ミサイルに対応-宇宙基本計画案(時事通信)22日 - 19時55分
北への金融引き締め検討 近く金融庁担当者ら米国派遣(産経新聞)22日 - 18時21分
<ロシア>外相が5月訪米 START1の後継条約を交渉(毎日新聞)22日 - 12時27分
<韓国>ロケット、日本上空通過へ 7月、衛星打上げ(毎日新聞)22日 - 8時18分
敵基地攻撃能力 安倍氏「検討を」(産経新聞)22日 - 7時58分
北の脅威に達観? 水産庁の安全策(産経新聞)22日 - 0時24分
<韓国ロケット>「日本通過だが平和目的」と外務省報道官(毎日新聞)21日 - 21時14分
安倍元首相、集団的自衛権行使の検討主張(産経新聞)21日 - 19時36分
<安倍元首相>ミサイル発射前の敵地攻撃検討に理解示す(毎日新聞)21日 - 19時9分
23日から南北朝鮮訪問=ロシア外相、核問題など調停(時事通信)21日 - 18時11分
北が流し続ける“テポドン歌謡” 「この慶事はだれのおかげか」(産経新聞)21日 - 11時55分

[北朝鮮核問題] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/north_korea_nuclear_program/?1220428632

[核兵器] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/nuclear_weapons/

予測不能な北の行動 辛抱強く臨む米国(産経新聞)25日 - 18時28分
「6カ国」プロセス、さらに後退=日米韓の圧力に対抗-北朝鮮(時事通信)25日 - 17時37分
北朝鮮が使用済み核燃料棒の再処理開始、報道官明かす(読売新聞)25日 - 13時56分
<北朝鮮>核燃料棒の再処理開始を宣言 非難声明に対応(毎日新聞)25日 - 13時10分
北朝鮮、核燃料棒の再処理を開始=朝鮮中央通信(ロイター)25日 - 12時54分
核活動の再開表明=燃料棒再処理に着手-北朝鮮(時事通信)25日 - 12時4分
北朝鮮3社を資産凍結対象に初指定…安保理制裁委(読売新聞)25日 - 10時38分
パキスタン プルトニウム施設完成 米研究機関「軍拡競争を加速」(産経新聞)25日 - 7時59分

【韓国】米国対北朝鮮政策特別代表、6 者協議関係国を訪問(サーチナ)25 日 - 7 時 36 分
 北朝鮮、6 カ国協議への復帰の用意できていない＝ロシア外相(ロイター)25 日 - 0 時 40 分
 北の衛星打上げに協力＝日米韓の「圧力」けん制－ロシア外相(時事通信)25 日 - 0 時 15 分
 <新核軍縮条約>米露が初交渉 削減対象で駆け引き(毎日新聞)25 日 - 0 時 15 分
 <韓露外相>6カ国協議に復帰せぬ北朝鮮に憂慮表明(毎日新聞)25 日 - 0 時 9 分
 <核軍縮会議>日本で開催…10年2月にも 米の戦略後押し(毎日新聞)24 日 - 22 時 44 分
 米ロ、戦略核削減で実質交渉開始＝年内合意目指し、来月次回会合(時事通信)24 日 - 22 時 16 分
 6カ国協議再開へ連携＝麻生首相、29 日から訪中(時事通信)24 日 - 20 時 35 分
 パキスタン、プルトニウム製造施設完成か(産経新聞)24 日 - 18 時 7 分
 北朝鮮核問題：ラブロフ露外相「大きな進展の兆候なし」(サーチナ)24 日 - 13 時 54 分
 北朝鮮核問題、早期の解決は望めない＝ロシア外相(ロイター)24 日 - 11 時 27 分 *N11



*N11



*N13



*N15

日米首脳が電話会談 6カ国協議再開へ連携確認(産経新聞)24 日 - 11 時 8 分
 米務長官「北朝鮮非核化予算は小さな投資」(YONHAP NEWS)24 日 - 10 時 51 分
 寧辺核施設再稼働なら国際社会が強く対応、柳明桓長官(YONHAP NEWS)24 日 - 9 時 44 分
 麻生首相、6カ国協議早期開催要請へ 日中首脳会談で(産経新聞)24 日 - 9 時 37 分
 <6カ国協議>再開「突破口見えず」…露朝外相が会談(毎日新聞)23 日 - 21 時 42 分
 口朝外相が会談(時事通信)23 日 - 20 時 27 分 *N12
 ラブロフ外相が訪朝し会談、事態打開出来ずと 説得に失敗(CNN.co.jp)23 日 - 15 時 0 分
 北朝鮮中将「誰も戦争など好まない」－中国報道(サーチナ)23 日 - 14 時 12 分
 再送：北朝鮮核問題、6カ国協議再開の準備できている＝米務長官(ロイター)23 日 - 14 時 9 分 *N13
 「北朝鮮に屈してはならない」…米務長官、取引拒絶の構え(読売新聞)23 日 - 10 時 59 分
 柳外交通商部長官、来月中・下旬に訪米の見通し(YONHAP NEWS)23 日 - 10 時 39 分
 北朝鮮の挑発に屈せず＝6カ国協議再開目指す－米長官(時事通信)23 日 - 6 時 16 分
 6カ国協議再開の方針強調＝米長官(時事通信)23 日 - 1 時 26 分
 麻生首相 キッシンジャー氏と意見交換 北朝鮮問題などで(毎日新聞)22 日 - 19 時 38 分
 6カ国協議再開期待＝キッシンジャー氏(時事通信)22 日 - 17 時 25 分 *N14



*N12



*N14



*N16

米上院、ヒル氏を駐イラク大使に承認(CNN.co.jp)22 日 - 16 時 33 分
 柳明桓長官「北朝鮮も PSI に参加すべき」(YONHAP NEWS)22 日 - 15 時 17 分

北朝鮮、南北接触で韓国のPSI参加反対を再度表明(YONHAP NEWS)22日 - 14時7分
IAEA事務局長が中国と会談(時事通信)22日 - 10時58分 *N15
PSI参加の原則に変わらない、李大統領が立場示す(YONHAP NEWS)22日 - 9時58分
李政権初の南北接触 開城工業団地 北、特惠見直し通告(産経新聞)22日 - 7時57分
北朝鮮、開城工団の特惠見直し＝韓国と政府間接触、20分で終了(時事通信)22日 - 1時7分
＜露外相＞23日から北朝鮮訪問 6カ国協議への復帰促す(毎日新聞)21日 - 21時25分
開城での南北接触は事前協議で対立(産経新聞)21日 - 20時36分
23日から北朝鮮訪問＝ロシア外相、核問題など調停(時事通信)21日 - 18時11分
韓国・李政権 初の南北接触(産経新聞)21日 - 15時39分
ロシアのラブロフ外相、今週平壤とソウルを訪問(YONHAP NEWS)21日 - 14時5分
北朝鮮が接触、李政権下で初(時事通信)21日 - 12時39分 *N16

[北朝鮮] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/north_korea/?1230275551

予測不能な北の行動 辛抱強く臨む米国(産経新聞)25日 - 18時28分
北朝鮮が使用済み核燃料棒の再処理開始、報道官明かす(読売新聞)25日 - 13時56分
＜北朝鮮＞核燃料棒の再処理開始を宣言 非難声明に対応(毎日新聞)25日 - 13時10分
北朝鮮、寧辺の核施設で再処理作業開始(産経新聞)25日 - 13時7分
北朝鮮、核燃料棒の再処理を開始＝朝鮮中央通信(ロイター)25日 - 12時54分
核活動の再開表明＝燃料棒再処理に着手－北朝鮮(時事通信)25日 - 12時4分
訪朝の露外相、金総書記と会えず…双方の主張にズレ？(読売新聞)25日 - 1時17分
北朝鮮、拘束の米女性記者2人を起訴へ(CNN.co.jp)24日 - 14時51分
北朝鮮、拘束の米人記者を起訴＝KCNA(ロイター)24日 - 14時4分
＜北朝鮮＞拘束の米国記者2人を裁判に…朝鮮中央通信(毎日新聞)24日 - 13時30分
北朝鮮、抑留中の米国人記者を裁判に回付へ(YONHAP NEWS)24日 - 11時40分
米国人記者を起訴＝北朝鮮(時事通信)24日 - 11時24分
ロシア外相が平壤訪問、文化・科学交流計画書に調印(YONHAP NEWS)24日 - 9時43分
ラブロフ外相が訪朝し会談、事態打開出来ずと 説得に失敗(CNN.co.jp)23日 - 15時0分
北朝鮮メディア、軍事境界線で韓国が軍事挑発と主張(YONHAP NEWS)22日 - 13時10分
労働新聞「日本は強制連行問題から解決すべき」(YONHAP NEWS)21日 - 15時41分

[米軍動向] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/us_armed_forces/

＜北朝鮮＞中朝国境の緩衝地帯にミサイル基地建設＝米軍の攻撃回避が狙い—NGOレポート(Record China)25日 - 18時8分
米海軍施設内で男性職員死亡 拳銃自殺か(産経新聞)25日 - 17時17分
クリントン長官がイラクを急ぎよ訪問、宗派間の抗争再燃せずと(CNN.co.jp)25日 - 17時12分
沖繩防衛局、飛行ルート把握せず アセス準備書説明会、質問打ち切りに怒号(琉球新報)25日 - 10時25分
アフガン・イラク虐待写真公表へ＝400件調査、数百枚にも一米(時事通信)25日 - 10時21分
F22、ハワイを經由「未明」の回避策実証(琉球新報)25日 - 10時10分
知事意見10月にも 普天間アセス(琉球新報)25日 - 10時0分
【韓国】米軍基地移転問題、最終結論出せず(サーチナ)25日 - 8時28分

政府、早期警戒衛星の導入検討 MD運用、米依存脱却(産経新聞)25日 - 7時57分
イラク、アフガンでの収容者虐待写真を公開へ 国防総省(CNN.co.jp)24日 - 17時0分
アフガンの虐待写真、来月初公開＝対テロ戦に影響も－米軍収容所(時事通信)24日 - 12時18分
<イラク>バグダッドなどで爆弾テロ…78人が死亡(毎日新聞)24日 - 11時57分
核戦略見直しなどに着手＝来年初め議会報告－米国防総省(時事通信)24日 - 11時27分
米国防総省、核戦略の定期見直しなど着手(産経新聞)24日 - 9時53分
イラク駐留米軍の技術工科部隊がアフガンへ移動、500人規模(CNN.co.jp)23日 - 18時57分
韓米軍高官級会談を開催、米第2師団移転を調整(YONHAP NEWS)23日 - 15時7分
前畑薬庫移転 国に同意書提出 長崎県佐世保市長(西日本新聞)23日 - 15時7分
米軍施設が病原体サンプル紛失、人間にも感染の恐れ(CNN.co.jp)23日 - 14時12分
ソマリア海賊、裁けるか 米で初訴追、司法に課題(産経新聞)23日 - 7時56分
前国防長官が承認＝テロ容疑者過酷尋問－米上院軍事委(時事通信)23日 - 7時4分
ソマリア海賊 裁けるか 米国で初の追訴…司法に課題(産経新聞)22日 - 22時15分
次世代戦闘機データのコンピューターに不正侵入と、米国防総省(CNN.co.jp)22日 - 17時48分
作戦統制権移譲後も「核の傘」提供、シャープ司令官(YONHAP NEWS)22日 - 13時6分
ソマリア海賊がNYで出廷 どう裁く米司法(産経新聞)22日 - 10時43分
F35の設計情報など流出か＝国防総省にハッカー－米紙(時事通信)21日 - 22時9分
米貨物船襲撃のソマリア沖海賊、ニューヨークに移送(CNN.co.jp)21日 - 12時33分

[ASAGUMO NEWS] 朝雲新聞社 <http://www.asagumo-news.com/>

4/27「ニュース」更新

ソマリア沖海賊対処 P3C 部隊派遣へ /// 防衛相 準備命令を発出
ソマリア沖の海自護衛艦 補給のため初入港 /// ジブチ港 指揮官、大統領を表敬
また不審船、艦載ヘリで防ぐ /// 船舶護衛は8回に
21年度遠航「かしま」など3隻出発 /// 中東・東欧方面13カ国を歴訪
国連スーダン派遣団 /// 第2次司令部要員が現地へ
中国国際観艦式に海幕副長派遣
21年度補助金関係第1次実施計画 /// 防音助成や再編交付金に総額635億円余
小松島 基地整備が完了 /// 新格納庫や滑走路の方位変更
長崎・平戸沖 漁船沈没12人不明 /// 海自が捜索 延べ53隻、15機を投入 /// 掃海艇「とよしま」海底の“船影”を探知
競泳日本選手権 高桑 2種目で日本新 /// 200・400個人メドレー /// 2冠に手応え「世界選手権向けさらに強化」

4/22「コラム」更新

・朝雲寸言 /// ・消費者庁設置法案 /// ・混迷するタイ政治

[民間航空機関連 (ex-SJAC 三輪さん)]

DL(0427)-----

防衛関連企業株価 民主党政権下で伸びることが期待されるが

Column: Defense stocks will fare well under Democrats

Shares of large defense companies have the potential to post substantial gains during the Obama administration, writes John Dorfman for Bloomberg. Dorfman writes that defense stocks climbed 259% while former President Bill Clinton was in office, compared with just

21% under former President George. W. Bush. However, Dorfman noted that Defense Secretary Robert Gates has indicated he wants to spend less on major weapons systems and more on conventional warfare capabilities. "This will affect all defense contractors, but I think most are capable of adapting to the new marching orders," Dorfman writes. Bloomberg (4/27)

無人機(UAV)米国内空域での自由度

UAVs face limits in U.S. airspace

Fears of mid-air collisions are slowing the increase of the use of unmanned aerial vehicles in the U.S. The FAA has said UAVs will not receive wide freedom to operate in domestic airspace until they can sense and avoid commercial aircraft. The limits are frustrating for military officials who want to use the drones during wildfires and other natural disasters. Google/The Associated Press (4/24)

GE 社国土防衛事業部門の株81%をフランス企業(Safran)へ売却

GE sells 81% of Homeland Protection unit to French firm

General Electric will sell an 81% stake in its Homeland Protection unit to French aerospace manufacturer Safran SA for \$580 million in cash. GE entered the business, which focuses on explosives detection, after the September 2001 terror attacks. The deal will allow Safran to diversify into the maintenance and service business. The Wall Street Journal (4/25)

ボーイング P8-A 対潜探査機の初飛行完了

New Boeing sub hunter completes first flight

A military submarine-hunter jet built by Boeing has completed its first flight. The P8-A flew for three hours over Seattle this weekend. Engineers will now equip the plane with sensor equipment. United Press International (4/26)

米国エアライン 豚インフルエンザに警戒態勢

U.S. airlines on "heightened awareness" over swine flu

While maintaining their Mexico routes, airlines are awaiting guidelines from the World Health Organization and other authorities as they stay on the lookout for passengers who may have swine flu symptoms. The outbreak of swine flu in Mexico as well as reports of 20 cases in the U.S. has prompted the Obama administration to announce a public-health emergency. Travel restrictions to Mexico have not been implemented, however, the European Union urged Europeans on Monday to postpone nonessential travel to the U.S. and Mexico. Meanwhile, some airlines have waived change fees for passengers flying through Mexico. No flights have been canceled, however. Bloomberg (4/27) , The Wall Street Journal (4/27) , The Kansas City Star (Mo.)/The Associated Press (4/26) , USA TODAY/The Associated Press (4/27) , Reuters (4/24)

FAA エアラインと鳥害の関係データ公開

FAA discloses bird-strike figures to public

Nearly every large commercial airport in the U.S. has seen collisions between aircraft and birds that were serious enough to cause damage, according for data released Friday by the Federal Aviation Administration. "Everybody's got a bird problem, period," said Paul Eschenfelder, an airline pilot who also teaches airport wildlife management. "It's all the way across the nation. It's going to vary by degree, but it's everybody's problem." USA TODAY (4/24) , The Boston Globe/The Associated Press (4/25)

エアラインの席(プレミアム)・手荷物チェックインなど販売条件の新機軸

Airline move could change how agents use GDSs

If enough airlines file their optional services, such as premium seating and checked luggage, with Airline Tariff Publishing Co., it could change the way travel agents use global distribution systems. "I think it is a fundamental change in how airline products are retailed, and it affords great opportunities," said Robert Buckman at Amadeus North America. Travel Weekly (4/26)

SmartQuote

"The way to get good ideas is to get lots of ideas, and throw the bad ones away."

--Linus Pauling, American scientist

いい案を見出す方法とは、アイデアを沢山出して、その中から悪い案を捨てることだ。

アメリカ科学者:ライナス・ポーリング

DL(0424)-----

レイセオン社 ミサイル、レーダー関連Q1期売上好調

Missile, radar sales boost Q1 profits at Raytheon

Stronger sales of missiles and radars helped push Raytheon's profits 14% higher in the first quarter. Earnings rose to \$452 million, up from \$398 million in the previous year. Although some observers say military spending may eventually decline, the strong profits demonstrate that sales remain strong at some defense firms. The Sun (Lowell, Mass.)/The Associated Press

ロッキード社 不況ではあるが安定的雇用確保を目指す発言

Lockheed CEO sees stable workforce despite economic downturn

Lockheed Martin's workforce will remain stable or increase modestly over the next year, CEO Robert Stevens said. The DOD recently indicated it would cut some defense programs, but Lockheed's programs were largely spared. In fact, the Pentagon has requested additional Aegis radar systems built by Lockheed. The Philadelphia Inquirer (4/24)

ジェットブルー航空 2005年以來初のQ1黒字化達成

Cutbacks help JetBlue post first-quarter profit

JetBlue managed to post a profit in its first quarter -- for the first time since 2005 -- thanks to fuel discounts and cost-cutting measures. The New York-based airline earned \$12 million compared with a loss of \$10 million in 2008's first quarter. Google/The Associated Press (4/23), Forbes/Reuters (4/23), The Wall Street Journal (4/24)

USエア航空 国内に限定している分収益が保障されたQ1期業績

Domestic focus protects earnings: US Airways

A lack of global exposure is protecting US Airways during the recession, the airline claims as it outperformed competitors in its first-quarter losses. The company announced a net loss of \$103 million, due mostly to fuel hedging. It lost \$237 million in the same period last year. TheStreet.com (4/23)

FAA 航空管制新世代方式実現のため 200億ドル予算要求を議会にアピール

FAA pushes Congress for \$20b air traffic control system

The FAA wants Congress to upgrade the 60-year-old air traffic control system, and to demonstrate how much times have changed, it has put the request into a six-minute video. The agency contends that a GPS-based system will give planes more flexibility in flight paths, eliminating congestion and increasing safety. The NextGen system would cost \$20 billion to deploy. Wired (4/2009)

チェックイン荷物の有料化広まる

Carriers implement more fees for checked luggage

Several airlines, likely emboldened by the revenue earned from charges on checked luggage, have rolled out new fees. Alaska Airlines, for example, plans to charge passengers for checking one piece of luggage. Starting in July, US Airways will charge economy travelers an extra \$5 if they deal with checked-luggage charges at the airport rather than online. "What we'd like to do now that we have this functionality is to encourage customers if they're checking bags to go check in online and pay for it there," said CEO Doug Parker. BTNOnline.com (4/23)

SmartQuote

"I am the Lorax, I speak for the trees, for the trees have no tongues."

私は森の精、ラロックス、私は木のために話す、なぜなら木には喋る舌がないからネ

--Theodor "Dr. Seuss" Geisel, author and illustrator, from "The Lorax" ドクター・スース・ガイゼル 絵本作家:「ラロックス」から

DL(0423)-----

ノースロップ Q1期利益 50%増加 情報システム事業が好調

Northrop sees Q1 profit jump nearly 50%

Northrop Grumman Corp. reported Wednesday that first-quarter profit soared 47%, driven by gains in its technology business. Northrop's information-systems division saw revenues rise 8% to \$2.49 billion, surpassing the aerospace unit, where revenues grew by 4% to \$2.46 billion. CEO Ronald Sugar said Northrop is "very well positioned" for the 2010 budget priorities outlined by Defense Secretary Robert Gates. The Wall Street Journal (4/22)

F-22 廃案後、他の機体プログラム(たとえば C-17)に関心が移る

Attention shifts to other aircraft as dust settles on F-22

The Obama administration appears headed to a quick victory in its effort to kill the F-22, but defense firms are redoubling efforts to protect other aircraft programs. After Defense Secretary Robert Gates indicated he wants to halt production of the C-17 cargo plane, Boeing Co. responded with newspaper ads proclaiming "Model Program: On Cost, On Schedule." The plane is attracting support from powerful lawmakers, including Sen. Dianne Feinstein, D-Calif., who notes that defense jobs are crucial to her state, which suffers an 11% unemployment rate. SeattlePI.com/The Associated Press (4/22)

ボーイングもタンカー計画の分割契約に賛成

Boeing gives blessing to split contract for tanker

The chief of Boeing Co.'s defense unit says his company would cooperate on a split contract for aerial refueling tankers if the Pentagon decides to go in that direction. "We are going to support whatever type of acquisition that our customer wants to put in place," Jim Albaugh said Wednesday. Both Northrop Grumman Corp. and bidding partner EADS have already indicated they would not be opposed to splitting the \$35 billion contract. The Seattle Times/The Associated Press (4/23)

エアライン業界 不況は1Qで底打ち、今年後半には明るさが戻ると

Some airlines see glimmers of hope in Q1 numbers

Though the biggest U.S. carriers all reported losses in the first quarter, executives at three companies -- Delta Air Lines, American Airlines and Continental Airlines -- all indicated that the worst of the downturn may be past. The key to a turnaround, said American CEO Gerard Arpey, will be a rebound in business travel. Companies "need to go to conventions. They need to go out and drum up business. And I think if the economy begins to pick up steam ... that will bode well for our traffic in the back half of this year." Florida Today (Melbourne)/The Associated Press (4/23)

バードストライク関連資料の公開につきFAA方針に運輸相が異議

LaHood vetoes FAA secrecy plan on bird-strike data

Faced with a public backlash and pressure from the NTSB, Transportation Secretary Ray LaHood is reversing a move by the FAA to withhold data on collisions between birds and airplanes. DOT spokeswoman Jill Zuckman said the data could appear online as soon as today, though a FAA spokesperson refused to comment. Prior to the announcement, Mark Rosenker, acting chairman of the NTSB, released a letter saying that publicly available data "is critical to the analysis and mitigation of the wildlife strike problem, and the board strongly disagrees with the FAA's proposal." The Boston Globe/The Associated Press (4/23)

ボーイング 787 一号機ロールアウト 間近

Boeing 787 poised to see light of day

Though there won't be parades or live TV coverage this time around, Boeing Co. is days away from rolling the 787 Dreamliner out of its hangar and onto the pavement at Paine Field near Seattle. "In the coming days, airplane number one will move out of the factory to the flight line," CEO Jim McNerney told analysts during an earnings call. "There, it will be fueled and its engines operated prior to doing a final systems check and the high-speed taxi test that lead to first flight." After a net loss of 24 orders this year, Boeing's order book for the 787 stands at 886. McNerney said more cancellations are inevitable in the current economy, though he expects them to be "modest." The Seattle Times (4/23)

「うまく経営されている」エアラインは不況を乗り切る態勢が出来ている

Analysts: "Better managed" airlines poised to survive recession

As a deep recession topples major players in other industries, analysts believe airlines will “scrape by” with no major bankruptcies. Compared with the last two downturns, U.S. carriers today are “better managed, and they react more quickly in a rational way to the threat they’re facing,” according to Phil Baggaley, managing director at Standard & Poor’s Ratings Services. But with credit tight and aircraft already encumbered with loans, raising cash could be a problem if the recession drags on, he warns. The Dallas Morning News (4/23)

SmartQuote

“Nothing can come of nothing: speak again.”

別に! ということから何も出てこない。ちゃんと申してみよ!

--William Shakespeare, English playwright, from “King Lear” ウィリアム・シェクスピア リア王から

DL(0422)-----

F-22 これ以上追及しないとロッキード社長

No more lobbying on F-22, Lockheed says

A top executive says Lockheed Martin Corp. won’t fight the Pentagon’s decision to ax the F-22. CFO Bruce Tanner told analysts that Defense Secretary Robert Gates made up his mind after giving the company “a full hearing,” and Lockheed will “accept those decisions.” Tanner said most of the workers at the F-22 assembly plant in Marietta, Ga., will be shifted to work on other planes. The New York Times (4/21)

ロッキードQ1業績悪化にもかかわらず通年利益計画達成の見通し

Lockheed confident despite 8.8% decline in Q1 profit

Lockheed Martin Corp. said it earned \$666 million in the first quarter, an 8.8% drop from year-earlier levels. Though revenues rose nearly 4%, earnings were hurt by pension expenses. Despite proposed cuts to big programs like the F-22 fighter and next-generation presidential helicopter, Lockheed said it remains on target for full-year revenues of \$44.7 billion to \$45.7 billion. The Wall Street Journal (4/22)

ユニテッド・テクノロジ(UT)社 6事業部のうち利益を伸ばしたのはシコルスキだけ

United Technologies sees lower sales in five of six divisions

United Technologies Corp. said only its Sikorsky aircraft unit saw a rise in operating profit as the parent company’s revenue slid by nearly \$2 billion in the first quarter. Hamilton Sundstrand aerospace systems and Pratt & Whitney jet engines were among the divisions reporting declining profit and sales. Forbes/The Associated Press (4/21), Bloomberg (4/21)

ボーイング社 Q1収益半減

Q1 earnings drop by half, Boeing says

“Unprecedented” challenges in the commercial aviation industry led to a 50% drop in Boeing Co.’s first-quarter earnings. Net income fell to \$610 million for the March quarter, compared to \$1.21 billion in the year-earlier period. Boeing now predicts full-year earnings of \$4.70 to \$5.00 a share, down from previous estimates of \$5.05 to \$5.35 a share. The Wall Street Journal (4/22)

787 地上での主要テストすべて完了

§ Boeing completes key tests of 787: Boeing Co. has completed testing all 92 main systems of the 787 in ground-based routines using generators and batteries to provide power. The so-called gauntlet tests, which simulate in-flight operations, were completed ahead of schedule, according to sources. AviationWeek.com (4/21)

コンチネタル航空Q1収益悪化に拘わらず、先行き見通しは堅い

Continental reports Q1 loss, but forward bookings show strength

Continental Airlines reported a net loss of \$136 million in the first quarter as “significant declines” in business travel contributed to a 17% drop in revenues. The loss of \$1.10 per share beat the consensus of Wall Street analysts, who expected a per-share loss of \$1.19. Continental said bookings for the next six weeks are running two to three percentage points ahead of the same time last year, with

trans-Atlantic and trans-Pacific routes beginning to show signs of increased demand. The Wall Street Journal/Dow Jones Newswires (4/22)

ユナイテッド航空 Q1期業績赤字報告

United announces \$382M net loss

In announcing a \$382 million net loss for the first quarter, United Airlines CEO Glenn Tilton said he sees “no conclusive evidence” that the steep slide in demand for air travel has reached its bottom. Though the carrier reduced capacity by 11.3% in the quarter, overall traffic fell 13.2% and premium traffic plunged 30%. Without accounting charges and gains on fuel hedges, United would have lost \$4 a share, an improvement over last year’s first-quarter loss of \$4.55. Chicago Tribune/The Associated Press (free registration) (4/21) , Air Transport World (4/22)

エアライン雇用 6.6%減少

Airline employment slides 6.6%

Employment at U.S. airlines was down 6.6% in February as carriers shed 27,500 jobs in the past year. According to the Department of Transportation, airlines employed 391,700 workers in February 2009, compared to 419,200 in February 2008. American City Business Journals/Honolulu (4/21)

SmartQuote

“In every walk with nature, one receives far more than he seeks.”

自然と歩む中で、人はいつも、目指していたものよりはるかに多くのものを受け取る。

--John Muir, naturalist and author ナチュラリスト作家 ジョン・ムア

DL(0421)-----

米海軍 今後 10 年間の航空機不足を訴える

Navy warns of aircraft shortfall

Given the current rate of new aircraft purchases, Navy officials are telling lawmakers they expect a shortfall of 243 jets over the next decade. Congressional aides say they expect a fierce debate over aircraft funding, with Boeing supporters, in particular, fighting for additional production. With the F-22 apparently nearing the end of its run, Boeing is counting on additional orders for the F/A-18 E/F Super Hornet to keep production lines going. The Hill (4/20)

タンカー問題 バスト・ヴァリュエ以外に判断基準はないと国防省調達担当官は肯定的

Senator: Pentagon nominee favors best-value contract for tanker

Sen. Richard Shelby, R-Ala., said he was encouraged by a Monday meeting with Ashton Carter, President Barack Obama’s nominee for Pentagon acquisition chief. Carter “stated that he has no other interest than acquiring the best tanker at the best value, and that cost must not be the only criteria,” Shelby said in a statement, adding that he would not remove his hold on the Carter nomination until he could discuss the issue “in greater detail” with Defense Secretary Robert Gates. Shelby is a key supporter of the aerial tanker proposed by Northrop Grumman Corp., which would build the planes in his state. Forbes/Reuters (4/20)

エアラインのアライアンス関係:EU では異例の特別調査

EU spokesman: Antitrust investigation “not a routine matter”

American Airlines says the European Commission’s investigation of a pair of trans-Atlantic alliances is merely a “formal procedural step,” though an EU official appeared to contradict that position. The commission announced Monday it was examining the two alliances among North American and European carriers -- including United Airlines, Continental Airlines, Luftansa and Air Canada -- all members of the Star alliance, and also American Airlines, British Airways and Iberia, the Oneworld alliance, to see if the agreements harmed consumers. “This is not a routine matter,” said an EU competition spokesman. “We don’t routinely open formal antitrust investigations.” USA TODAY (4/20) , Financial Times (4/21)

航空管制 次世代方式のための予算を優先的にという動き

NextGen to get big push on Capitol Hill

Narrower air lanes, reduced spacing between planes and reduced vectoring would help save the economy some \$40 billion a year in fuel costs and lost productivity, according to advocates of the NextGen air traffic control system. Airlines and other industry supporters plan to make NextGen funding a key priority in congressional budget debates, though the mechanism for that funding remains contentious. "It's our top priority because it's a way of spending government money in a way that's going to deliver billions and billions of dollars in benefits to consumers and the nation's economy," says a spokesman for the Air Transport Association. USA TODAY (4/20)

砂漠に駐機することが、どれだけエアライン業績に貢献しているか？

Column: How boneyards are helping the airline industry

As airlines move aggressively to reduce their fleets -- some 30 jets a month are being parked in desert boneyards -- pricing power will eventually return to the industry, analysts predict. Douglas Runte of Piper Jaffrey sees "potential benefits for the industry" from all the planes being mothballed. "Planes that are leaving the U.S. fleet for the most part are leaving forever, and that will lead to higher fares," he says. With the likelihood of more jets being parked after the busy summer travel season, fares for July and beyond are already ticking up. The Wall Street Journal (4/21)

航空業界サプライヤにもおよび航空機不況の影響(Eaton 社の場合)

Eaton sees 5% drop in aerospace sales

Eaton Corp., a major supplier of fuel pumps and hydraulics for the aviation industry, forecasts a 5% drop in aerospace sales compared to 2008 levels. CEO Alexander Cutler says the biggest cutbacks will come from overseas airlines, while general aviation and regional airlines are Eaton's biggest domestic worry. "The business jet segment has been hit hard," Cutler says. The Wall Street Journal/Dow Jones Newswires (4/20)

航空宇宙業界 不況下でも元気 (AIA 発表)

Aerospace industry resilient despite economy

The aerospace industry showed modest growth in the midst of extremely challenging economic circumstances in 2008, AIA President and CEO Marion Blakey announced at the 44th Annual Year-End Review and Forecast. Blakey said industry sales are on pace to reach total sales of \$204 billion, an increase of 2.1%, a record level for the fifth straight year. Read more here.

SmartQuote

"Almost every wise saying has an opposite one, no less wise, to balance it."

どんな箴言にもほとんどの場合、逆の言葉がある。賢さで劣っているということではなく、バランスをとる結果となっている。

--George Santayana, philosopher, poet 哲学者・詩人: ジョージ・サンタヤナ

DL(0420)-----

ボーイング社工場に駐機したままになっている機体数が増えている

Aircraft piling up at Boeing plants

The Seattle Times counts at least 10 new aircraft parked at various Boeing Co. locations, awaiting delivery to cash-strapped customers. Though a spokesman insists Boeing has no "white tails," or completed planes in search of customers, "What Boeing clearly does have," the paper reports, "is customers in distress and some airplanes sitting as expensive excess inventory far longer than the plane maker would like." The Seattle Times (4/18)

給油機 二社に分割発注はコスト高になると議会では批判が高まる

Lawmakers doubt split tanker deal would cost \$7B

Some members of Congress are disputing a claim by Defense Secretary Robert Gates that splitting a contract for aerial refueling tankers would cost U.S. taxpayers an extra \$7 billion. Rep. Neil Abercrombie, D-Hawaii, who chairs a key appropriations subcommittee, said tankers proposed by both Boeing Co. and Northrop Grumman Corp. are based on existing models, helping to keep development costs down. Industry sources, too, say the Gates figure is hard to justify. "We are scratching our heads," an industry insider told

Reuters. "We don't know where that figure came from." Reuters (4/19)

議会で国防予算委員会、ゲーツ長官は雇用確保の観点から最後の山場をのりきれるか

Gates beats Congress to employment argument

Lawmakers returning to Washington Monday after a spring recess will have their first real chance to stamp their priorities on the 2010 defense budget. But analysts say Pentagon chief Robert Gates has already anticipated much of the debate, framing his budget in terms of jobs and stealing much of the lawmakers' thunder. The News & Observer (Raleigh, N.C.)/McClatchy Newspapers (4/19)

エアライン提携関係(スターおよびワンワールド アライアンス)がアンティトラストに反する疑いあり、EU 調査開始

EU raises antitrust concerns with Star, Oneworld

The European Commission announced Monday it was investigating the Star and Oneworld alliances for suspected violations of antitrust laws. The commission said certain members of the two alliances may be cooperating too closely on schedules and fares, leading to reduced competition on trans-Atlantic routes. The Wall Street Journal (4/20)

航空機メーカー 需給調整で難しい経営計画

Aircraft makers seek delicate balance between supply, demand

Experts say both Boeing Co. and Airbus will have to reduce production further than the targeted cuts already announced, but an expected recovery in 2011 makes planning difficult. Both companies are downplaying expectations that cuts could reach 30%, insisting 2009 looks relatively firm while 2010 is questionable. Many customers are seeking to defer deliveries for no more than a year, increasing the likelihood that 2011 could be a boom year. Aviation Week & Space Technology (4/19)

SmartQuote

"A goal without a plan is just a wish."

計画のない目標は、単なる願望でしかない。

--Antoine de Saint Exupéry, French writer and aviator フランス作家・航空家:アントワン・サンテグジュペリ

DL(0417)-----

EADS はタンカー分割発注(12機ミニマム)で合意

EADS willing to split tanker contract with 12-plane minimum

EADS and its U.S. partner, Northrop Grumman Corp., would be willing to split the \$35 billion contract for a new aerial refueling tanker with arch-rival Boeing Co., provided the contract called for at least 12 planes a year, enough to justify building a new plant in Mobile, Ala. EADS CEO Louis Gallois said Thursday his company would compete again for a winner-take-all contract on the tanker, though he feared shifting the criteria from "best value" to "lowest cost" might favor the Boeing bid. A Boeing spokesman said his company had no comment "on which direction our customer should take" in deciding whether to split the contract. The New York Times (4/16)

サウスウエスト航空 業績不振につきまだ最終報告には至っていないと語る CEO

Southwest chief "not ready to call the bottom"

After reporting a \$91 million quarterly loss, Southwest Airlines CEO Gary Kelly said Thursday that revenue appears to be stabilizing, though he is "not ready to call the bottom just yet." May should tell us a lot, Kelly said in an earnings call, noting that revenues for March and April should be about even with last year, despite widespread fare sales. The Wall Street Journal (4/16)

エアバス社エンダース CEO エアラインにたいする航空機の受領を支援する国家助成が必要だと述べる

Airbus chief urges government help in financing aircraft

Warning that more production cuts are possible, Airbus CEO Thomas Enders on Thursday called for additional support from governments to help airlines take delivery of planes they have on order. Rather than a direct government bailout for manufacturers, Enders urged more financing availability for customers, similar to France's pledge of \$6.6 billion in loans for Airbus customers. A European aerospace group estimates buyers this year could fall up to \$20 billion short of the financing they need for some 1,000 aircraft on order from both Airbus and Boeing Co. The Wall Street Journal (4/17)

ボーイング787今年初の受注(バーレーンのガルフ・エア社がオプション行使)

Boeing wins first 787 order of 2009

Boeing Co. has landed its first order of the year for 787 aircraft. The plane maker, which has suffered 32 Dreamliner cancellations since Jan. 1, says Gulf Air of Bahrain has exercised its option for eight of the 787-8 aircraft worth \$1.3 billion at list prices. The Seattle Times (4/16)

ラジオニュース特集:アリージャント航空 25年前のサウスウエスト航空に似た戦略で成長

NPR: Is Allegiant the new Southwest?

In its week-long series on aviation, National Public Radio looks at the business model of Allegiant Air, speculating that the discount carrier "might remain one of the few success stories in the troubled airline business." The report notes that Allegiant sells direct, charges for extras and avoids busy markets, preferring to connect underserved small cities with "world-class leisure destinations" like Las Vegas and Orlando. "Allegiant is a little version of what Southwest was 25 years ago," says aviation analyst Hubert Horan. National Public Radio (4/17)

SmartQuote

"You can only be young once. But you can always be immature."

若さは一時のこと。未熟さは一生。

--Dave Barry, American author, Pulitzer Prize-winning humorist アメリカ作家・ピュリッツァー賞受賞作家 デイブ・バリー
DL(0416)-----

海軍空母艦載機の発進方式 最新開発プログラムに意欲

Navy defies GAO, continues development of aircraft launch system

Despite concerns from the Government Accountability Office, the Navy said Wednesday it will continue development of a new, electromagnetic aircraft launching system being designed for the aircraft carrier Gerald R. Ford. The system from General Atomics "promises to lower overall lifecycle costs, require less maintenance than steam catapults and generate less physical stress on carrier-based aircraft," according to a Navy spokesman, who noted that the service is conducting fixed-price contract negotiations to keep costs in line. A GAO report found that the launching system is one of the highest-risk factors in the budget of the Gerald R. Ford, which is being built by Northrop Grumman. Forbes/Reuters (4/15)

ゲーツ長官 WAR カレッジでの講演で、契約業者を責める前に 国防省内の変革をもとめる

Gates criticizes Pentagon bureaucracy, not contractors

Defense Secretary Robert Gates is taking his vision of a re-prioritized military on the road with speeches to young officers at service leadership schools. At the Air War College in Montgomery, Ala., on Wednesday, Gates said too many Pentagon planners have viewed Iraq and Afghanistan as "exotic distractions" despite the fact that "young Americans were fighting and dying every day." While calling for new strategies, Gates has avoided the sharply critical tone of President Barack Obama, who said last month that some U.S. weapons programs "are designed to make a defense contractor rich." The Wall Street Journal (4/16)

ボーイングのバイオ燃料開発者は燃料費・CO2 削減に貢献を強調

Boeing's biofuel chief speaks out on carbon, costs

In an interview with Germany's Spiegel Online, Boeing Co.'s chief environmental strategist says biofuels -- and algae in particular -- can help airlines keep fuel costs down while greatly reducing carbon emissions. "The biofuels that can be available in the next few years will have a 60 percent lower carbon footprint than fossil fuel," says Billy Glover, noting that carbon trading schemes will help drive prices down. And while he is not sure about estimates that the entire global aviation industry could be fueled by an algae culture the size of Belgium, "we are very pleasantly surprised by the innovation and the progress" in algae research, he says. Der Spiegel (Germany) (English online version) (4/15)

アメリカン航空 業績悪化が予想外にすくなく、懸念された 737 引き取りを予定通り実施

American reports smaller-than-expected loss, secure financing for 737s

Despite reporting a big first-quarter loss, American Airlines says it has financing in place to take delivery of most of the 68 new 737s on order through the end of 2010. The carrier lost \$375 million in the quarter, beating analysts' estimates and sparking a big rally in AMR shares. American reported assets of \$3.6 billion that can be monetized for aircraft purchases, and backstop financing is also likely through Boeing Co. and engine manufacturers. The Wall Street Journal/Dow Jones Newswires (4/15) , American City Business Journals/Dallas (4/15)

SmartQuote

"Let us make a special effort to stop communicating with each other, so we can have some conversation."

勝手なおしゃべりを止めるようにしましょう、そうすればきちんとした対話ができるようになります。

--Judith Martin, "Miss Manners," American writer and etiquette authority 「ミス・エチケット」アメリカ作家マナー講師: ジュディ・マーチン DL(0415)-----

国防予算削減案に対する議会の反応 ゲーツ長官真剣に対応

Gates: Congress taking budget cuts seriously

Defense Secretary Robert Gates is "pleasantly surprised" by lawmakers' response to his proposed spending priorities marked by big cuts in major weapons systems. "It seems to me that a number of the responses have been thoughtful, and [lawmakers] have been willing to take this seriously and in the vein it was intended," Gates told reporters on Tuesday. In the coming days, Gates will take his vision for a transformed military to the war colleges of all three services, stressing the need to prepare for "complex, hybrid wars" melding guerrilla tactics with conventional weapons. "It is this broad set of ideas that I want to talk ... about instead of the budget dollars," he said. The Washington Post (4/15)

軍用ヘリの抜本的見直し

Proposed budget leaves helicopters in question

By canceling development of both the Combat Search-and-Rescue helicopter and the next-generation presidential helicopter, the Pentagon is "essentially wiping clean the drawing board for new starts in military helicopters for the foreseeable future," according to Aviation Week. Other programs such as the Armed Reconnaissance Helicopter and the Joint Future Theater Lift also have run into problems, leaving Sikorsky's CH-53K as the military's workhorse helicopter, with plans calling for a 30% boost in orders. Aviation Week & Space Technology (4/14)

エンブレア社 軍用輸送機の開発に意欲

Embraer announces new cargo plane

Embraer said Tuesday it plans to develop a new military cargo jet in cooperation with the Brazilian Air Force. The company estimates it will take seven years and \$1.3 billion to build the KC-390, part of an effort to beef up its military business at a time when business and commercial aviation are on the decline. Bloomberg (4/14)

ボーイングの移転とワシントン州経済への影響

Study: Boeing move could cripple Washington economy

A new study suggests Washington state could lose nearly 234,000 jobs if Boeing were to suddenly move its operations to another state in 2013, while a slower move would lead to a "decade of stagnation." The report issued by the Washington Alliance for a Competitive Economy predicts "severe" impacts on wages, employment, population and housing values under either scenario. American City Business Journals/Seattle (4/14)

カンタス航空 787(10機買却 16機受取伸ばす)の件でボーイングと交渉

Qantas mum on status of 787 orders

Qantas Airways says it will sell 10 aircraft and defer deliveries of 16 new planes as it grapples with plunging demand for air travel. Asked about the fate of its big 787 order, Qantas CEO Alan Joyce refused to comment, noting that the carrier is in negotiations with Boeing

エアライン新規航空機の早期引渡しを望むか？

Survey: Many airlines willing to take early delivery of new aircraft

Despite the financial crisis, a UBS survey finds many airlines are jockeying for position as delivery slots for new aircraft become available. About one-quarter of the airlines surveyed said they would seek to move up deliveries, while a similar percentage said they were likely to request deferments. Meanwhile, almost half the airlines with plans to take delivery of new aircraft in the next 18 months have yet to secure financing. Aviation Daily (4/14)

SmartQuote

"It was as true ... as taxes is. And nothing's truer than them."

真実といえば、税金ほど確かな真実は無い。

--Charles Dickens, English novelist, from "David Copperfield" 英国作家チャールズ・ディケンズ: デイヴィッド・カッパーフィールドから

[新刊紹介] Military Technology 0904



Page 118 Advances in Ceramic Armour 兵士防護用の耐弾のセラミック材料の動向
【編注】 有識者殿 これは宇宙デブリ防護には応用が効かないのかな？

Table 1: Some properties of armour ceramics compared to RHA.

	RHA	Alumina (high purity)	Silicon carbide	Titanium di-boride	Boron carbide
Bulk density (kg/m ³)	7,850	3,810-3,920	3,090-3,220	4,450-4,520	2,500-2,520
Young's modulus (GPa)	210	350-390	380-430	520-550	420-460
Hardness (VHN*)	300-550	1,500-1,900	1,800-2,800	2,100-2,600	2,800-3,400
Elongation to failure (%)	14-18	<1	<1	<1	<1

* VHN = Vickers Hardness Number

NATO Summit 2009 折込み Special Supplement 各国防衛閣僚のインタビューなど page I -XXXIX

Page XIII では Norway 防衛大臣 Anne-Grete Strøm-Erichsen のコメント

<p>http://blog.norway.com/wp-content/uploads/2009/02/strc3b8m-eriksen.jpg</p>	<p>http://media.aftenposten.no/archive/00902/JOI/NT_STRIKE_FIGHTER_902530x.jpg</p>	<p>http://www.defpro.com/data/gfx/news/f86162f27073ce7691230e8989f49039c21e97eb_big.jpg</p>	<p>http://www.defenseindustrydaily.com/images/AIR_JAS-39N_Concept_Water_Ig.jpg</p>

2008.11.21 Norway selects JSF F-35 LII over JAS GRIPEN

Defense Minister Anne-Grete Strøm-Erichsen said, "The Joint Strike Fighter is considered to be the better of the two candidates regarding intelligence and surveillance, counter air, air interdict and anti-surface warfare."

She said, "It would be a good thing to start contract negotiations (with Lockheed Martin) as soon as possible," she said. Strøm-Erichsen also said Norwegian companies would win valuable contracts as part of the deal.

<http://www.realitymod.com/forum/f21-news-frontlines-political-debate/49231-norway-selects-jsf-f-35-lii-over-jas-gripen.html>

ネット上で機種選定の投票ができるサイトもあるが、このサイトでは、JAS 4 割、JSF 3 割、ユーロファイタが 2 割超など。投票数は現在 13,539 票。

<http://www.aftenposten.no/nyheter/iriks/politikk/article2394960.ece>

【編注】 米の JSF F-35 を採用、隣国の Sweden の JAS Gripen を蹴った。



page 3 今回のカバーの説明:

Cover:

An Israeli robot for urban warfare and counter-terrorism, the **VIPER**, developed by Elbit Systems, is capable of shooting bursts of automatic fire and throwing fragmentation, smoke and stun grenades. The **VIPER**, about a foot long and weigh approximately **five pounds**, is powered by a special electrical engine and operated by remote control or according to a program implanted in its 'brain' in advance. It is capable of climbing stairs, getting past obstacles and at the same time checks what is going on around it by means of a system of sensors. Equipped with a special machine gun, on which a laser pointer has been installed. The **VIPER** is carried to the battlefield by a soldier on his back in a special carrier. When it is necessary to infiltrate a building safely where, for example, armed terrorists are hiding, the soldier lowers it to the ground, turns it on and from that moment controls it from a distance. (Photo: Elbit Systems)



<http://www.yomiuri.co.jp/world/news/20090422-OYT1T00260.htm>

[編注] 読売新聞 090422 にも類似ニュース: **イスラエル軍の最先端「無人兵器」、ガザ紛争で次々投入** (右の図も)

[Globalsecurity.com](http://www.globalsecurity.org/space/index.html) <http://www.globalsecurity.org/space/index.html>

[軍事宇宙開発 [spacetoday.net: military](http://www.spacetoday.net/military)] http://www.spacetoday.net/articles_bycategory.php?cid=18

[中国宇宙開発-3 [spacetoday.net: China](http://www.spacetoday.net/China)] http://www.spacetoday.net/articles_bycategory.php?cid=42

[Space & Missile Report] [Table of Contents](#) via Rick Hashimoto (Boeing)

April 27, 2009

- * NASA Constellation Program Budget May Be Hit With \$3.5 Billion Cut, Slamming 2020 Lunar Mission Goal
- * Stephen Hawking: Space Travel To Mars And Stars Is Possible, And Necessary; He Tells How To Do It
- * Pakistan, Armed With Long-Range Missiles Tipped With Nuclear Weapons, May Fall To Taliban Extremists, U.S. Officials Warn
- * Iranian Threat Proves Need For European Missile Defense, Sen. Lieberman Says
- * Ahmadinejad Snubs Idea Of Surrendering Nuclear Program; Says Iran Has Rights; Rejects Unconditional U.S.-Iranian Talks
- * Sen. Kyl Says Gates Plan Leaves Boost-Phase Missile Defense Programs In Limbo, On Hold
- * Kyl Assails Officials Who Give Bailout Trillions To Banks, Brokers, Others -- But Then Get Tough With Procurement Programs Like Missile Defense
- * China Is Displaying Nuclear Submarines For First Time; Beijing Orders Increased Patrols In Contested Sea Area
- * Blumenthal: U.S. Competition With China Is Now, Not A Future Development; Gates Plan Responds With Weakness To Rising Chinese Military
- * Israel To Buy Vulcan-Phalanx Cannon System If Gates Agrees To Provide A Unit; Raytheon System Would Kill Rockets From Gaza Strip

- * GOES-R Satellite Costs Jump, Schedule Problems Arise: GAO
- * Rep. Kosmas Urges Dropping Space Shuttle Retirement Deadline Of Sept. 30, 2010
- * Transcript: Sen. Jon Kyl, Senate Minority Whip, On Missile Defense /// * **Airborne Laser** In Flight Tests
- * Atlantis Liftoff On STS-125 Mission To Refurbish Hubble Telescope Is Accelerated, Flying A Day Earlier
- * China Launches Second GPS-Like Satellite; It Reaches Proper Orbit, Sends Back Signals
- * NASA's Shuttle and Rocket Missions
- * Raytheon Gains \$23.5 Million Contract Change For GPS Ground Station Control Segment Work
- * Missile Advocacy Group Announces New Board Member
- * Boeing Unit Advances, But Earnings From United Launch Alliance A Drag
- * **Space Based Infrared** Payload Delivered /// * Hubble Space Telescope Spots Multi-Galactic Collision, Spawning New Blue Stars

April 20, 2009

- * Special Issue: Multiple Reports Warn NASA Challenged; Space Agency Needs \$4.7 Billion A Year More Than The \$19.1 Billion Yearly It Has Estimated: CBO
- * NASA Needs Stable Funding, Policy, Goals; New Report Issued As Obama Prepares Next NASA Budget Proposal For Congress
- * Griffin, Scolese, Warn Against Volatile Cuts In NASA Budget; Predictability Needed; Vital To Preserve Vision For Space Goals
- * Cutting Space Programs Could Make A Nosediving Economy Even Weaker
- * North Korea To Rebuild Reactor, Produce More Plutonium; U.N. Nuke Inspectors Ousted At Yongbyon
- * Gates Refused Permission To Use High-Powered Radar To Track Illicit North Korean Missile Flight Over Japan
- * Gates Asserts His Budget Plan Doesn't Kill Airborne Laser, Ground-based Midcourse Defense System By Barring Further Purchases
- * Missile Defense Backers Open Lobbying Fight To Rescue Imperiled Missile Defense Programs
- * NASA Langley Center Tests Shock Absorbers On Orion Spacecraft Seats To Lessen Impact Of Slamming Down In Return To Earth
- * Griffin To Take Faculty Job With University of Alabama at Huntsville
- * KEI Ground Systems Pass Test Leading Toward Booster Flight /// * Anomaly Causes Herschel-Planck Launch Postponement
- * A Sight To Behold: NASA Has Two Space Shuttles On Pads At Kennedy; Never Again To Be Repeated
- * South Korea Prepares June Missile Launch To Orbit Satellite; Missile Will Go Near Japanese Island Areas
- * Sicral 1B Satellite Launched On Zenit-3SL Lifter From Sea Launch Platform In Pacific
- * NASA's Shuttle and Rocket Missions /// * Lockheed To Build Comms Satellite For Japanese Firm; Launch In 2013
- * Boeing, Raytheon Gain Contract Changes To Demonstrate Free Electron Lasers
- * Space Station Node Named Tranquility, But Comedian Show Host Gets Consolation-Prize Treadmill Name
- * NASA TV To Provide High Definition Views From Space Station On Earth Day
- * Kepler Space Telescope Views Milky Way Area Ripe For Seeking Earth-Like Planets

[\[Defense Daily\]](#) [Table of Contents](#) via Rick Hashimoto (Boeing)

April 28, 2009

- * Young Says Tanker Price Shootout Still Possible
- * Young Regrets Not Wrangling With 'Flawed' FCS Acquisition Strategy
- * DDG-1000 Will Deploy, CNO Says
- * Australia Requests \$560 Million FMS Sale of Boeing Chinook Helicopters

- * Pentagon Raps Air Force For Omitting Auto-Landing Feature On Predator Drones
- * EFV Program Manager Predicts Vehicle Will Survive Continued Scrutiny
- * Boeing's P-8 Takes To The Skies For First Flight
- * Embraer to Upgrade Brazilian Navy Jets

April 27, 2009

- * Defense Watch
- * Air Force Weighing Needs For New Irregular Warfare Wing, Light Attack Platform
- * Possible Punaro Army Nomination Weighed By McCain, Other Lawmakers
- * Air Force To 'Persuade' Gates On New Bomber During Program Reviews
- * SAFRAN To Acquire Majority Stake In GE's Homeland Protection Business
- * With Senators' Tanker Fears Calmed, Carter To Take AT&L Reins Today

April 24, 2009

- * HASC Leaders Unveil New Acquisition Reform Bill
- * Irregular Capabilities To Get Boost In Major Pentagon Weapons Review
- * Army Committed To Armed Scout Helicopter, Officials Tell HASC Panel
- * Harris Gets \$600 Million Army Contract For New SATCOM Terminals
- * Lockheed Martin Views Its Work On ARCI As Beneficial To Its CANES Bid
- * Raytheon Posts Strong First Quarters, Boosts 2009 Guidance
- * Griffin, Scolese, Warn Against Volatile Cuts In NASA Budget

April 23, 2009

- * Work On War Supp Delayed; Murtha Weighing Tanker, F-22 Changes
- * Army Pledges 'Rapid' Action On Post-FCS Ground Vehicle Plan
- * BAE Systems Land & Armaments Business Aligns On Market-Driven Strategy
- * GAO Rejects Protest By Losing Bidder On Savannah Contract
- * Canada Taps Insitu For Small Unmanned Aerial Vehicle

Services

- * A Year After EPIC Award BAE Looks To Cut Costs, Time On Ship C4I Work
- * Army Plans RFP For Life Cycle Services For C-12, RC-12 and UC-35 Fleet

April 22, 2009

- * Lawmakers Focus On Missile Defense Cuts, European Site
- * Pentagon, USAF Officials Doubt Reported JSF Cyber Breach
- * Navy Continues Verifying AARGM, OPEVAL Planned For Summer
- * General Atomics Gets \$22 Million Navy Award For Railgun ACL
- * Supacat and Babcock To Deliver New Armored Vehicles To U.K. MoD
- * Lingering Tanker Worries Keep Carter Vote Stalled
- * Air Force Sees Next Generation Bomber Buy Secure Despite Gates' Delay
- * Boeing And Creative Technologies Deliver Final Report On New Fires Center

April 21, 2009

- * Young: Study If DDG-1000 Hull Is Right For Future Cruiser
- * Navy Takes Delivery of (the newest most advanced big deck amphibious ship, LHD-8)
- * Gates Says Military Leaders Support 'Apolitical' Budget Proposal
- * Republicans Slam Gates' Program Cuts On Return To Hill
- * General Dynamics Awarded \$12 Million First Phase of Army Ground Soldier Ensemble
- * MRAP Simulators On Order From Oshkosh Specialty Vehicles, FAAC Inc.

[Quotes from the Old/New Testament] 涙

Ps.56:8	...Put my <u>tears</u> into Your bottle;わたしの涙をあなたの皮袋にたくわえてください。...
Ps.116:8	...My eyes from <u>tears</u> , And my feet from falling,わたしの目を涙から、わたしの足をつまずきから...
Ps.137:1	By the rivers of Babylon, There we sat down, yea, we <u>wept</u> When we remembered Zion.	われらはバビロンの川のほとりにすわり、シオンを思い出して涙を流した。
John 11:35	Jesus <u>wept</u> .	イエスは涙を流された。
Rev.21:4	"And God will wipe away every <u>tear</u> from their eyes; there shall be no more death, nor sorrow, nor crying. There shall be no more pain, ...	人の目から涙を全くぬぐいとして下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。...